2022年度募集一覧

法人種別	団体名	事業名	対象分野	募集対象	助成内容	備考	HP
2022/4/1	(公財) 村田学術振興財団	第38回(2022年度) ①研究助成 ②研究会(学会)助成 ③海外派遣奨励	①研究助成 [自然科学]エレクトロニクスを中心とする研究分野に関する研究 [人文・社会科学]国際化にもとむ法律、経済、社会、文化等の諸問題に関する研究 ②研究会(学会)助成 上記①の各分野に関する日本国内で開催される研究会・学会 ③海外派遣奨励 上記①の各分野に関する日本に在住者による海外での研究活動、または海外で開催される国際会議、シンポジウム等で研究発表する機会を海外派遣 (1)学際的総合研究 人間活動と環境保全との調和に関する研究 一陸域・淡水生態系の保全再生と持続可能な利用、気候変動の影響や自然災害に対する適応力の強化 (2)若手研究・奨励研究 課題設定しないが、「人間性豊かな生活環境の確立」に役立つ発想豊かな新しい分野への挑戦的研究を期待 カテゴリー-1: NPO法人等、高等学校等以外の主体が行うより先進的、特徴的、または効果的な「心のエンジン」を駆動させるプログラム カテゴリー-2: 卓越した能力を持つ人材を、早期に発掘・育成する教育プログラム(先端・異能発掘・育成プログラム) カテゴリー-3: 大学・NPO等で行う、「21世紀型 教養教育プログラム」 カテゴリー-4: 「心のエンジン」を駆動させるための働き手をつくる教育プログラム(主体的・協働的な学習を実践できる教員養成・指導者育成プログラム) ※詳細は募集要項HP参照	①研究助成 有意義な研究、特に若手研究者で萌芽段階研究者または研究グループ、日本国内に在住者(国籍不問)、海外在住の日本人研究者も可。 ②研究会(学会を含む)助成 2022年6月～2023年6月の間に日本国内で開催される研究会・学会 ③海外派遣奨励 日本在住(国籍不問)で海外での研究活動、又は海外で開催される国際会議シンポジウム等で研究発表するに当たり、受入承諾を得ている又は申請中で受入承諾が得られる見込みの方 (1)学際的総合研究 海外居住者は代表者にはなれない (2)若手研究・奨励研究 海外居住者は代表者にはなれない。45歳未満(1977年4月1日以降生まれ)但し学生(大学院を含む)には応募資格なし (3)海外派遣奨励 海外居住者は代表者にはなれない。45歳未満(1977年4月1日以降生まれ)但し学生(大学院を含む)には応募資格なし	①研究助成 単年助成: [自然科学]2,000千円～5,000千円程度/件 [人文・社会科学]1,000千円～3,000千円程度/件 複数年助成(3年間): [自然科学]10,000千円から15,000千円程度/件 ②研究会(学会)助成 [自然科学]500千円～2,000千円程度/件 [人文・社会科学]1,000千円程度/件 ③海外派遣奨励 [海外での研究活動]200千円～1,000千円程度/件 [国際会議参加費用]50千円～300千円程度/件	電子申請: 2022/4/1 書類提出: 2022/4/6必着	#https://www.murata.com/ja-jp/group/zaidan/requirement#
2022/4/4	ニッセイ財団	2022年度ニッセイ財団環境問題研究助成	(1)学際的総合研究 人間活動と環境保全との調和に関する研究 一陸域・淡水生態系の保全再生と持続可能な利用、気候変動の影響や自然災害に対する適応力の強化 (2)若手研究・奨励研究 課題設定しないが、「人間性豊かな生活環境の確立」に役立つ発想豊かな新しい分野への挑戦的研究を期待 カテゴリー-1: NPO法人等、高等学校等以外の主体が行うより先進的、特徴的、または効果的な「心のエンジン」を駆動させるプログラム カテゴリー-2: 卓越した能力を持つ人材を、早期に発掘・育成する教育プログラム(先端・異能発掘・育成プログラム) カテゴリー-3: 大学・NPO等で行う、「21世紀型 教養教育プログラム」 カテゴリー-4: 「心のエンジン」を駆動させるための働き手をつくる教育プログラム(主体的・協働的な学習を実践できる教員養成・指導者育成プログラム) ※詳細は募集要項HP参照	(1)学際的総合研究 海外居住者は代表者にはなれない (2)若手研究・奨励研究 海外居住者は代表者にはなれない。45歳未満(1977年4月1日以降生まれ)但し学生(大学院を含む)には応募資格なし	(1)学際的総合研究 1,000万円～1,500万円 (2年分) (2)若手研究・奨励研究 50万円～150万円	消印有効	#http://www.nihonseimeizaidan.or.jp/kankyo/index.html#
2022/4/4	(一財)三菱みらい育成財団	日本の社会を支え発展させる次世代人材の育成に資する教育プログラムへの助成	カテゴリー-1: NPO法人等、高等学校等以外の主体が行うより先進的、特徴的、または効果的な「心のエンジン」を駆動させるプログラム カテゴリー-2: 卓越した能力を持つ人材を、早期に発掘・育成する教育プログラム(先端・異能発掘・育成プログラム) カテゴリー-3: 大学・NPO等で行う、「21世紀型 教養教育プログラム」 カテゴリー-4: 「心のエンジン」を駆動させるための働き手をつくる教育プログラム(主体的・協働的な学習を実践できる教員養成・指導者育成プログラム) ※詳細は募集要項HP参照	カテゴリー-1: 教育事業者、大学等 カテゴリー-2: 大学等 カテゴリー-3: 大学等 カテゴリー-4: 大学等 カテゴリー-5: 教職系大学、教育事業者等 ※詳細は募集要項HP参照	カテゴリー-1: 5～10百万円程度(採択10件程度) カテゴリー-2: 10～20百万円程度(採択5件程度) カテゴリー-3: 1～8百万円程度(採択10件程度) カテゴリー-4: 10百万円程度(採択1～2件)	募集期間: 2022/2/1～4/4 17:00	#https://www.mmfes.or.jp/entry_2022/#
2022/4/7	(公財)サントリー文化財団	2022年度研究助成	①学問の未来を拓く 人文学、社会科学分野において、従来の「研究」や「学問」を問い直す思想的胆識に富んだグループ研究活動 ②次世代人材・半導体技術・情報処理・AI関連技術・DX関連技術・応用・半導体製造設計・デバイス・プロセス・コミュニケーション技術・半導体製造におけるカーボンニュートラル環境技術等の独創的なテーマ(Feasibility Study含む)	申請代表者・研究メンバーの国籍、所属、年齢不問、グループ研究(複数機関の3名以上を想定)対象。複数メンバーで議論を深める研究を対象とする。※詳細は募集要項HP参照	50～300万円/件	23時59分	#https://www.suntory.co.jp/sfnd/research/#
2022/4/15	キオクシア(株)	2022年度キオクシア奨励研究助成	①研究助成 ②研究会(学会)助成 ③海外派遣奨励	①研究助成 有意義な研究、特に若手研究者で萌芽段階研究者または研究グループ、日本国内に在住者(国籍不問)、海外在住の日本人研究者も可。 ②研究会(学会を含む)助成 2022年6月～2023年6月の間に日本国内で開催される研究会・学会 ③海外派遣奨励 日本在住(国籍不問)で海外での研究活動、又は海外で開催される国際会議シンポジウム等で研究発表するに当たり、受入承諾を得ている又は申請中で受入承諾が得られる見込みの方	100万円/200万円/件 国内の学術研究機関(国立大学、私立大学)に所属する研究者 ※任期付教員(任期付研究員含む)の場合2023年3月末日まで雇用期間がある方。博士後期課程在籍中または進学予定の修士生可(条件あり)。	15時必着 ※博士後期課程在籍中(または内定(出願中))も、ただし本学では研究費管理不可。	#https://about.kioxia.com/ja-jp/news/2022/20220301-1.html#
2022/4/20	(公財)セコム科学技術振興財団	令和4年度一般研究助成	国民の健康で安全な生活の確保、災害防止等国民生活に密着した研究	①研究助成 有意義な研究、特に若手研究者で萌芽段階研究者または研究グループ、日本国内に在住者(国籍不問)、海外在住の日本人研究者も可。 ②研究会(学会を含む)助成 2022年6月～2023年6月の間に日本国内で開催される研究会・学会 ③海外派遣奨励 日本在住(国籍不問)で海外での研究活動、又は海外で開催される国際会議シンポジウム等で研究発表するに当たり、受入承諾を得ている又は申請中で受入承諾が得られる見込みの方	100万円以内/件 助成総額500万円以内/件 採択数: 20件程度	募集期間: 2022/3/23～4/20 15時まで (締切必着)	#https://www.secomzaidan.jp/ippan.html#
2022/4/22	(一財)放送大学教育振興会	2022年度放送大学教育振興会助成	(1)放送等による大学教育の向上に関する研究開発 (2)放送等による大学教育に関する事業	放送等を利用した大学教育を行う大学に所属する常勤の教職員	1件当たり原則として150万円程度	応募期間: 2022/3/25～4/22	#https://ua-book.or.jp/subsidy/#
2022/4/28	(公財)武田科学振興財団	2022年度吉野書屋研究助成	吉野書屋所蔵の資料に関する研究	本研究に取り組む日本在住の研究者	1件100万円以内×7件程度	募集期間: 2022年1月6日(水)10時～2022年4月28日(水)	#https://www.takeda-sci.or.jp/assist/kyou.html# #https://r.ine.st/grant/56_ikedas/#
2022/4/30	(株)リパネス	第56回リパネス研究賞池田理化学医療研究奨励賞	幹細胞およびその他の細胞を用いたヒト臨床を伴わない研究	・大学・研究機関に所属する40歳以下の研究者 ・海外に留学中の方でも申請可能 ・研究室に所属して研究を始めていれば、学部生からでも申請可能	採択件数: 若干名 (本賞、奨励賞) 本賞: 研究費50万円 奨励賞: 研究費30万円	18時	http://www.jil.or.jp/research/josei/index.html# #http://www.jil.or.jp/research/josei/index.html#
2022/4/30	(公財)生命保険文化センター	2022年度生命保険に関する研究助成	商学・経営学、経済学、法学、家政学、社会学、消費者教育、数学・統計学といった幅広い学際分野による「生命保険及びこれに関連する」研究が対象	a 若手研究者 日本国内の大学の大学院生(博士後期課程)、助教、講師、准教授、その他これに準ずる研究者、個人研究、共b 一般研究者 教授、その他これに準ずる研究者。 ※詳細はHP参照	50万円を上限 a 若手研究者12件程度 b 一般研究者3件程度	必着 ※博士後期課程学生可。ただし、本学での経費管理は、研究代表者が専任教職員のみに限る。	http://www.jil.or.jp/research/josei/index.html# #http://www.jil.or.jp/research/josei/index.html#
2022/4/30	(株)リパネス	第56回リパネス研究賞とリチウム賞	リチウムを活用した次世代電池に関わる、あらゆる研究	・大学・研究機関に所属する40歳以下の研究者 ・海外に留学中の方でも申請可能 ・研究室に所属して研究を始めていれば、学部生からでも申請可能	採択件数: 若干名 助成内容: 研究費50万円	18時	#https://r.ine.st/grant/56_kowa/#
2022/5/6	(公財)メルコ学術振興財団(新名称: 牧誠財団)	2022年度第一次研究助成 ①研究助成 ②研究会(学会)助成 ③挑戦的萌芽研究助成	日本企業で実践されている優れた管理会計業務の定式化又は理論化に関する研究ならびにそれを含む周辺領域に関する研究。特に「管理会計技術、管理会計システム、事業承継システム、およびこれに関連する管理システム」を対象	①研究助成A 研究者・博士後期課程大学院生 ②研究助成B 博士後期課程大学院生 ③挑戦的萌芽研究助成 研究者・博士後期課程大学院生 ・申請者(個人またはグループ代表者)は研究助成期間中、日本の大学・研究機関に所属していること。 次に該当し、2022年7月1日～2023年6月末日の間に出発、又は招聘を予定している者 (1)日本の大学・研究機関に所属する研究者及び大学院生。(ただし、大学院生は招聘への応募不可) (2)その他の条件は、HPを参照。	①研究助成A 1件30万円×200件程度×20件程度 ②研究助成B 一人毎年60万円程度×3年間を若干名 ③挑戦的萌芽研究助成 1件30～200万円程度を若干名 ※助成総額2860万円程度	必着 ※博士後期課程学生可。ただし、本学での経費管理は、研究代表者が専任教職員のみに限る。	#http://melco-foundation.jp/apply/research/6084/#
2022/5/6	(公財)メルコ学術振興財団(新名称: 牧誠財団)	2022年度第一次研究助成(国際研究交流助成)	管理会計学の研究を促進するための次に該当する国際研究交流 (1)大学院生学術派遣(1週間以内) (2)学会報告派遣(1週間以内) (3)ワークショップ報告派遣 (4)短期派遣(3か月以内) (5)中期派遣(4～24か月以内) (6)招聘 (※詳細はHPを参照)	①研究助成A 研究者・博士後期課程大学院生 ②研究助成B 博士後期課程大学院生 ③挑戦的萌芽研究助成 研究者・博士後期課程大学院生 ・申請者(個人またはグループ代表者)は研究助成期間中、日本の大学・研究機関に所属していること。 次に該当し、2022年7月1日～2023年6月末日の間に出発、又は招聘を予定している者 (1)日本の大学・研究機関に所属する研究者及び大学院生。(ただし、大学院生は招聘への応募不可) (2)その他の条件は、HPを参照。	(7)20万円程度×5件程度 (8)30万円程度×4件程度 (9)40万円程度×若干名 (10)50万円以下×若干名 (11)10万円/月×若干名 (12)50万円以下×若干名 (13)助成金額は総額600万円程度で、渡航費(往復)及び滞在費の一部を奨励。	必着 ※院生可(お招待は不可)。ただし本学での収支管理は不可。	#http://melco-foundation.jp/apply/international/6096/#
2022/5/6	(公財)メルコ学術振興財団(新名称: 牧誠財団)	2022年度第三次研究助成(出版助成)	管理会計学及び関連領域の研究成果の出版(翻訳書も含む)を奨励	①研究助成A 研究者・博士後期課程大学院生 ②研究助成B 博士後期課程大学院生 ③挑戦的萌芽研究助成 研究者・博士後期課程大学院生 ・申請者(個人またはグループ代表者)は研究助成期間中、日本の大学・研究機関に所属していること。 次に該当し、2022年7月1日～2023年6月末日の間に出発、又は招聘を予定している者 (1)日本の大学・研究機関に所属する研究者及び大学院生。(ただし、大学院生は招聘への応募不可) (2)その他の条件は、HPを参照。	150万円/件×若干名 助成総額450万円程度	必着	#http://melco-foundation.jp/apply/publication/6098/#
2022/5/13	(公財)山崎香料振興財団	令和4年度研究助成	①香料の基礎的・応用的研究 ②香料の原料や応用などの関連分野に関する研究。具体的には、次に掲げる①～⑧テーマに関する研究 ①香料の成分研究 ②香料採取による生活習慣病予防もしくは老化抑制に関する研究領域 ③香料採取による運動機能の維持・向上(ロコモティブシンドローム予防等)に関する研究領域 ④複数の香料による生理機能の相乗効果に関する研究領域 ⑤香料の香りによる癒し効果に関する研究領域 ⑥香料に関する栽培・育種部門、加工・応用部門の研究領域 ⑦香料に関する社会科学分野の研究領域 ⑧その他、助成の趣旨に照らして必要と認められる事項に係る研究領域	日本国内の大学・大学院・研究所等に所属し、対象分野に関する研究を主体的に進め、科学・産業の発展に貢献する所が大きいと思われる研究者(個人)とする。概ね39歳以下の若手研究者を対象。 ※詳細は募集要項HP参照	100万円/1件 2022年10月 から2023年9月末日(1年間)		#http://yamazakispice-promotionforjp.bosyu.shtm#
2022/5/15	(公財)永守財団	研究助成2022	①研究助成 ②研究会(学会)助成 ③海外派遣奨励	①研究助成 有意義な研究、特に若手研究者で萌芽段階研究者または研究グループ、日本国内に在住者(国籍不問)、海外在住の日本人研究者も可。 ②研究会(学会を含む)助成 2022年6月～2023年6月の間に日本国内で開催される研究会・学会 ③海外派遣奨励 日本在住(国籍不問)で海外での研究活動、又は海外で開催される国際会議シンポジウム等で研究発表するに当たり、受入承諾を得ている又は申請中で受入承諾が得られる見込みの方	100万円/1件 2022年10月 から2023年9月末日(1年間)		#https://www.nidec.com/jp/nagamori-f/subsidy/applicationguidelines.html#
2022/5/20	(一社)日本ガス協会	2022年度ガスエネルギーの持続的発展に資する研究助成金制度	①ガスエネルギー一般産業化に関する技術 ②ガスエネルギー利用技術 ③ガスエネルギー利用システム ④エネルギーセキュリティ、レジリエンス ⑤その他(①～④以外でガスエネルギーに関するもの) ※詳細はHP参照	①研究助成 有意義な研究、特に若手研究者で萌芽段階研究者または研究グループ、日本国内に在住者(国籍不問)、海外在住の日本人研究者も可。 ②研究会(学会を含む)助成 2022年6月～2023年6月の間に日本国内で開催される研究会・学会 ③海外派遣奨励 日本在住(国籍不問)で海外での研究活動、又は海外で開催される国際会議シンポジウム等で研究発表するに当たり、受入承諾を得ている又は申請中で受入承諾が得られる見込みの方	100万円/件(最大3件)		#https://www.gas.or.jp/#
2022/5/20	(公財)スズキ財団	令和4年度課題提案型研究助成	自動車に代表される移動体の安全技術、情報・通信・制御等の技術、およびそれらの技術を使った自動運転技術、人間工学技術、事故防止技術、もしくは事故の被害を低減する技術などに関して想定される課題を提起し、その解決方法に向けた研究	日本国内の大学、大学院、高等専門学校または公共研究機関に常勤する研究者 ※詳細は募集要項HP参照	1件あたり1000万円を上限。 助成件数4件程度	応募期間: 2022/4/1～5/20	#https://www.suzukifound.jp/02program/program03.html#
2022/5/23	(一財)平和・安全保障研究所	日米パートナーシップ・プログラム第7期奨励学生募集	①研究助成 ②研究会(学会)助成 ③海外派遣奨励	①研究助成 有意義な研究、特に若手研究者で萌芽段階研究者または研究グループ、日本国内に在住者(国籍不問)、海外在住の日本人研究者も可。 ②研究会(学会を含む)助成 2022年6月～2023年6月の間に日本国内で開催される研究会・学会 ③海外派遣奨励 日本在住(国籍不問)で海外での研究活動、又は海外で開催される国際会議シンポジウム等で研究発表するに当たり、受入承諾を得ている又は申請中で受入承諾が得られる見込みの方	100万円/件(最大3件)		#https://www.rps.or.jp/#
2022/5/31	(公財)電気通信普及財団	国際交流人材育成助成(2022年度)	情報通信分野における開発途上国の人材育成を促進する活動プロジェクト ・情報通信分野における国際交流を通じて、我が国の情報通信分野における人材育成を促進する活動プロジェクト	非営利活動を実施する大学、高等専門学校の代表者	200万円程度/件×数件程度		#https://www.taf.or.jp/grant-c/02/#
2022/5/31	(公財)NEC C&C財団	2022年度C&C賞候補者公募	C&C技術分野の発展、学術的・技術的研究開発、実用化、応用、普及、教育に関する活動。あるいはC&C技術分野の発展、普及、文化に関する活動や寄与を明確にして体系化したり、次に求められるC&C技術を示唆したりするような社会科学的研究活動に顕著な貢献があった人	※自費は不可 ※国籍、年齢、性別不問 ※個人、少数グループ可 ※推薦者等、詳細は募集要項HP参照。	賞状、賞牌、賞金(1千円/件)	必着	#https://www.candc.or.jp/kensyo/2022/nomination.html#
2022/5/31	(公財)在宅医療助成 勇美記念財団	2022年度(前期)公募助成	在宅医療等推進のための調査研究等への助成 ①一般公募「在宅医療推進のための研究」 ②テーマ公募 現代社会における在宅医療の課題についての調査研究をおこない、在宅医療の向上に寄与することを目的とする。 ①在宅医療における感染症対策に関する調査研究 ②在宅医療から在宅医療移行期における多職種連携による在宅医療支援システム構築のための研究 ③在宅医療における食支援のための研究 ④在宅医療推進の中で、在宅医療を支える介護職の役割と課題、専門性にかかわる研究 ⑤在宅医療の質に関する研究 ⑥在宅医療に連携する環境保全技術に関する研究 ※詳細はHP参照	①一般研究助成 原則として日本国内にある組織(大学・企業等の法人又は実体のある任意団体)に所属する研究者。 ②若手研究助成 日本国内にある組織に所属する研究者で、2022年4月1日時点以下のいずれかに該当する者。 ・高年齢38歳(2年計画で申請する場合は38歳)以下の者。 ・博士号取得後8年未満(2年計画で申請する場合は7年未満)の者。 大学、高等専門学校の代表者	一般公募: 2300万円(件数未定) テーマ公募 ①100万円 ②～⑤250万円(件数未定)		#http://www.zaitakuiyo-yuuzaidan.com/main/jyosei.html#
2022/5/31	(公財)鉄鋼環境基金	第43回(2022年度)環境助成 ①一般研究助成 ②若手研究助成	鉄鋼産業に関連する環境保全技術に関する研究 ※詳細はHP参照	①一般研究助成 原則として日本国内にある組織(大学・企業等の法人又は実体のある任意団体)に所属する研究者。 ②若手研究助成 日本国内にある組織に所属する研究者で、2022年4月1日時点以下のいずれかに該当する者。 ・高年齢38歳(2年計画で申請する場合は38歳)以下の者。 ・博士号取得後8年未満(2年計画で申請する場合は7年未満)の者。 大学、高等専門学校の代表者	①150万円/年以下 ②100万円/年以下 一般助成・若手助成合計で50～60件程度	募集期間: 2022/4/1～5/31(17時)必着	#http://www.sept.or.jp/02jyoseijigyou/02sinnseisy/sinseisy.html#
2022/5/31	(公財)電気通信普及財団	ネット社会課題対応助成(2022年度)	①情報社会の進展に伴い生じている社会的な課題に取り組む活動プロジェクト ②地域や社会の課題の解決に貢献するため、情報通信の利用を適切に組み合わせつつ、社会的な課題に取り組む活動プロジェクト	①研究助成 原則として日本国内にある組織(大学・企業等の法人又は実体のある任意団体)に所属する研究者で、2022年4月1日時点以下のいずれかに該当する者。 ・高年齢38歳(2年計画で申請する場合は38歳)以下の者。 ・博士号取得後8年未満(2年計画で申請する場合は7年未満)の者。 大学、高等専門学校の代表者	200万円程度/件 (①及び②合わせて5件程度)		#https://www.taf.or.jp/grant-c/03/#
2022/5/31	(公財)スズキ財団	①第3回「やらまいか大賞」 ②第3回「やらまいか特別賞」	①小型自動車をはじめとする国民生活用機械等の生産・利用・消費に係る科学的研究に関するもので、独創的・先進的であり、学術的・社会的発展に寄与した研究者 ②過去に当該財団から助成を受けた科学的研究であり、将来に顕著な成果を期待できる研究者	①日本国内の大学、大学院、高等専門学校、公的研究機関に常勤又は研究活動当時常勤していた研究者 ②過去に当該財団の科学技術研究助成・課題提案型研究助成を採択され、研究を実施した研究者	①1000万円/1件 賞状、賞牌 ②300万円/1～3件程度 賞状、賞牌		#https://www.suzukifound.jp/04honoring/honoring01.html#
2022/5/31	(一財)材料科学技術振興財団	令和4年度 研究助成・共同研究	①研究助成 先駆的な科学技術分野において、「新材料」に関連する基礎的研究ならびにそれら材料の物性評価測定方法に関するものもしくは「バイオ関連分野」に関する基礎的研究及び解析評価に関するもの ②共同研究 「半導体関連分野(特にパワーデバイス)」、エネルギー関連分野(特に全固体電池)、バイオ関連分野、ソフトマテリアル関連分野等、先進的な科学技術分野における基礎的研究及び物性評価測定方法に関するもの ③在宅医療における感染症対策の普及及び啓蒙等への助成 ④市民、専門職を問わず、在宅医療における感染症対策を目的とした活動に対し助成を行う。 ⑤市民の集い開催への助成 ⑥在宅医療推進のための市民の集いの開催、母子、動物の作成および配布をすることにより、市民への在宅医療の啓蒙を目的とする。 ⑦在宅医療推進のための多職種連携研究会への助成 ⑧在宅医療の推進や啓蒙等を目的とした地域での多職種連携のネットワーク作りを目的とした研究会等を推進する。	令和5年(2023年)1月1日時点で50歳未満の、日本国内の機関に所属している方(国籍不問)。 日本の大学等及び研究機関に所属する研究者の方、もしくは大学院生(博士課程「後期」)	①研究助成 原則として100万円 ②共同研究 原則として100万円(内訳: 交付50万円、弊団での解析評価50万円) 採択件数: 若干名		#https://www.mst.or.jp/contact/tabid/552/Default.aspx#
2022/5/31	(公財)在宅医療助成 勇美記念財団	2022年度(前期)公募助成	在宅医療等推進のための調査研究等への助成 ①一般公募「在宅医療推進のための研究」 ②テーマ公募 現代社会における在宅医療の課題についての調査研究をおこない、在宅医療の向上に寄与することを目的とする。 ①在宅医療における感染症対策に関する調査研究 ②在宅医療から在宅医療移行期における多職種連携による在宅医療支援システム構築のための研究 ③在宅医療における食支援のための研究 ④在宅医療推進の中で、在宅医療を支える介護職の役割と課題、専門性にかかわる研究 ⑤在宅医療の質に関する研究 ⑥在宅医療に連携する環境保全技術に関する研究 ※詳細はHP参照	①研究助成 原則として日本国内にある組織(大学・企業等の法人又は実体のある任意団体)に所属する研究者。 ②若手研究助成 日本国内にある組織に所属する研究者で、2022年4月1日時点以下のいずれかに該当する者。 ・高年齢38歳(2年計画で申請する場合は38歳)以下の者。 ・博士号取得後8年未満(2年計画で申請する場合は7年未満)の者。 大学、高等専門学校の代表者	①150万円(件数未定) ②500万円(1件30万円上限) ③500万円(1件50万円上限)		#http://www.zaitakuiyo-yuuzaidan.com/main/jyosei.html#
2022/5/31	(公財)電気通信普及財団	学術研究出版助成(2022年度)	情報通信に関連する人文科学・社会科学分野、技術分野、関分野にわたる分野の学術研究成果の書籍出版を助成	日本の大学等及び研究機関に所属する研究者の方、もしくは大学院生(博士課程「後期」)	最大200万円/件、年度総額600万円を予定。	必着	#https://www.taf.or.jp/grant-c/04/#
2022/5/31	(公財)マツダ財団	第38回(2022年度)マツダ研究助成(科学技術振興関係)	現在ならびに将来にわたって解決が求められている科学技術に関する基礎研究および応用研究 (1)機械に係る研究分野 (2)電子・情報に係る研究分野 (3)化学系材料に係る研究分野 (4)物理系材料に係る研究分野 (詳細はHP参照)	日本国内の大学(含、附属研究機関)、高等専門学校に所属(常勤)して、自然科学・工学技術分野の基礎的・応用的研究に従事し、その研究業績が科学技術の進歩・発展に貢献する所が大きいと思われる研究者を単独、または有資格研究者を代表とする研究グループ。特に若手研究者や女性研究者の応募を歓迎。 ※助成対象の中から、若手研究者を主たる対象とし、マツダ研究助成奨励賞を授与 ※賞状・シンポジウム・セミナー等の開催を行う団体の責任者	100万円/件×31件 総額3,100万円 ※マツダ研究助成奨励賞: 副賞50万円×4件	募集期間: 2022/4/11～5/31(必着)	#https://mzaidan.mazda.co.jp/bosyu/science_serach/index.html#
2022/5/31	(公財)電気通信普及財団	シンポジウム・セミナー等開催助成(2022年度5月期)	①学術分野 情報通信の研究、普及・発展に関して学術的に寄与する会議等 ②社会貢献分野 情報通信の普及、利活用の振興に社会的に寄与するシンポジウム・セミナー	①以下、100万円以下/件×5件程度 ・2022年10月から2023年9月までに開催するもの		必着 ・新型コロナウイルス拡大の影響により、やむをえず延期となる場合は延期を認め、またリモート開催に変更となる場合、経費削減を前提にリモート開催に必要な経費に変更可能。	#https://www.taf.or.jp/grant-c/01/#

法人種別	団体名	事業名	対象分野	募集対象	助成内容	備考	HP
2022/5/31	(公財)カシオ科学振興財団	第40回(令和4年度)研究助成候補者推薦	<研究分野> 自然科学(特に電気・機械工学系)/(医学・生理学系)および人文科学の研究を助成し募集する研究テーマに指定された研究分野からの応募が対象。 A・電気・機械工学系 B・医学・生理学系 C・人文科学系 (詳細はHP参照) <研究テーマ> 1. 特別テーマ: 題目「SDGsを達成するための課題解決に向けた研究」 2. 基本テーマ1 上記A, B, Cの分野から、助成額最大100万円として募集 3. 基本テーマ2 上記A, Bの分野から、助成額最大300万円として募集	大学研究機関が推薦する研究グループの代表研究者または個人研究者であり、職名については申請時点で教授・准教授・講師・助教・助手に限る(非常勤可)	<特別テーマ>500万円/件、件数2件 <基本テーマ1>100万円/件、件数49件 <基本テーマ2>300万円/件、件数7件	※必着 推薦書・申請書様式は、研究開発センター市ヶ谷事務課から取り寄せること。 ※申請締切: 2022/5/19 ※推薦は1学部3件までとなっているため、上限に満たない場合のみ学内の締切後も受け付けます(財団締切5/29必着)	#https://casiozaidan.org/naiyou/entry/#
2022/5/31	(公財)電気通信普及財団	長期海外研究奨励(2022年度)	情報通信の普及・発展に資するため、情報通信に関する研究(人文科学・社会科学分野、技術分野及び両分野にわたる研究)を行う研究者が、海外で長期間、優れた研究活動を実施するための経費の一部を奨励	日本の大学等又は研究機関に所属する研究者(博士の学位を取得またはこれに相当する過程を終了)し、研究実績を有する、大学等の常勤の研究者で、原則40歳以下	対象期間 原則として6か月～1年以内 奨励対象費用とその額 滞在中に研究を遂行する上で必要な経費と旅費の一部 (1)滞在費の一部 (2)往復海外渡航費 奨励予定数:3名程度	所属機関長の推薦書が必要	#https://www.taf.or.jp/grant-b/01/#
2022/5/31	(公財)電気通信普及財団	特別講義開設奨励(2022年度募集・2023年度開講分)	大学における情報通信に関する特別講義(人文科学・社会科学分野、技術分野及び両分野にわたる講義)を新たに開設するもの経費の奨励	日本国内の大学(大学院研究科・学部)	・奨励期間: 2023年度を開講初年度とする最大連続3年間 ・奨励予定講義数: 4件程度(1年100万円以下/7件)		#http://www.taf.or.jp/josei/b01.html#
2022/6/3	(公財)ロッテ財団	第10回(2023年度)研究助成事業「奨励研究助成(A)・(B)」	①奨励研究助成(A) (B)共通分野 1. 食品のマーケティング 2. 食文化 3. 嗜好性(おいしさ・味覚) 4. 栄養・機能性 5. 食品安全・衛生 6. その他分野横断的領域 ②食品のマーケティング ③食文化 ④嗜好性(おいしさ・味覚) ⑤栄養・機能性 ⑥食品安全・衛生 ⑦その他分野横断的領域	・本年4月1日時点で原則40歳以下で、国内の大学・短期大学・高等専門学校・および公的研究機関に所属する研究者。 ③の応募のみ、本年4月1日時点で原則50歳以下。 ※詳細はHP参照	・奨励研究助成(A) 最大300万円/件①～⑦25件程度⑧10件程度 ・研究期間は1年～3年まで選択可能 ・奨励研究助成(B) 最大100万円/件×20件程度、研究期間は1年	2022/6/3(12時)正午まで ・Web申請 Zoom説明会 4/14(水)4/20(水)4/22(金)4/25(月)5/10(火) 12時～および16時～(各回約30分)	#http://www.lotte-isf.or.jp/applicants1.html#
2022/6/10	(公財)大川情報通信基金	2022年度(第36回)大川賞・大川出版賞	社会実装型研究分野「奨励研究助成」(A)のみ選択可 ①大川賞 情報・通信分野における研究、技術開発および事業において顕著な社会的貢献のあった方 ②大川出版賞 情報・通信分野に関する優れた図書	①受賞者は原則として個人とし、故人は含まず。 ②2019年1月1日以降に発行された図書 留意事項: ・著者は原則として個人とするが数名に限り共著も認められる。 ・編者は原則として審査の対象外 ・図書は原則として日本国内で発行されたものとするが、国内外の国立私立大学、公的研究機関等に所属する研究者	①賞状ならびに副賞として金メダル、賞金1,000万円(日本人研究者1名、海外の研究者1名) ②著者に対して賞状ならびに副賞として金メダル、賞金100万円、出版社に対して賞状および賞額×2～3件	必着	#http://www.okawa-foundation.or.jp/index.html#
2022/6/10	三菱マテリアル株	2022年度三菱マテリアル産学共同研究公募制度(2次募集)	三菱マテリアル社の中長期経営戦略におけるメガトレンドに寄与する材料及びプロセスに関連した技術。 ※詳細は募集元HP参照	①受賞者は原則として個人とし、故人は含まず。 ②2019年1月1日以降に発行された図書 留意事項: ・著者は原則として個人とするが数名に限り共著も認められる。 ・編者は原則として審査の対象外 ・図書は原則として日本国内で発行されたものとするが、国内外の国立私立大学、公的研究機関等に所属する研究者	①共同研究: 助成200万円以内 ②単独研究: 年間2,000万円以内 ③②とも最長3年間	28時59分	#http://www.mmc.co.jp/corporate/ja/business/rd/koubu.html#
2022/6/10	(公財)八洲環境技術振興財団	2022年度国際会議・研究発表会等の参加、及びシンポジウム等の開催助成【第1期】	環境負荷低減、環境保全等の環境に関する技術の普及・啓蒙を目的とし、国際会議・研究発表会等の参加、およびシンポジウム等の開催を支援	日本の国・公・私立大学(大学附属または附属研究所を含む)、及び高等専門学校に在籍する個人	最大20万円/件×7件程度(1・II期通して)	応募期間: 【第1期】2022/4/10～2022/6/10 【第2期】2022/10/10～12/10 (当日消印有効)	#https://www.yashimadenki.co.jp/zaidan/#
2022/6/15	(一財)建設物価調査会	2022年度研究助成	研究助成テーマ 土木、建築等の建設工事に係る積算、工事費、資材価格、労務等の価格動向及びその活用方法に関する研究 【共有する地域コミュニティづくりを基本テーマとし、高齢社会実践的研究助成(実践的研究助成)、「若手実践的課題研究助成」(いずれもテーマ設定あり)。詳細は募集元HP参照。	大学、高等専門学校及びこれらに付随する機関等の研究者又は民間企業の研究者	2022年10月1日から2023年9月30日までの1年間: 200万円以内 又は2024年9月30日までの2か年: 400万円以内 応募は合わせて3件程度 助成予定件数: 2件程度	#https://www.kensetu-bukka.or.jp/trendtopics/subsidi/2022application/#	
2022/6/15	(公財)日本生命財団	2022年度ニッセイ財団 高齢社会助成「実践的研究助成」	「共有する地域コミュニティづくりを基本テーマとし、高齢社会実践的研究助成(実践的研究助成)、「若手実践的課題研究助成」(いずれもテーマ設定あり)。詳細は募集元HP参照。	研究者(助手可)または実践家。ただし若手実践的課題研究助成については2022年4月1日時点で45歳未満で、大学院博士課程学生可。	・実践的課題研究助成は、1件あたり200万円×2年間。 研究助成については2022年4月1日時点で45歳未満で、大学院博士課程学生可。 ・若手実践的課題研究助成は、1件あたり100万円×1年間。	消印有効 院生可。ただし本学での収支管理は不可。	#http://www.nihonseimei-zaidan.or.jp/kousei/02.html#
2022/6/15	マツダ財団	第38回(2022年度)マツダ研究助成(青少年健全育成関係)	①青少年の健全育成に資する教育現場及び市民活動の活性化に役立つ有用性の高い研究(基礎的研究を含む) ②ポランティア育成 ③若者の居場所づくり ④地域連携・コミュニティづくり ⑤自然とのふれあい ⑥国際交流・協力 ⑦科学体験・学び	日本国内の大学、NPO等に所属して、青少年健全育成に関する研究に従事し、その研究成果が、次代を担う青少年の健全育成に貢献するところが大きいと思われる研究者または研究グループ	①共同研究: 助成100万円以上/件 ②単独研究: 助成50～100万円/件 ③②とも最長3年間	必着	#https://mzaidan.mazda.co.jp/boisyu/human_serach/index.html#
2022/6/17	(公財)DNP文化振興財団	2022年度グラフィック文化に関する学術研究助成	グラフィックデザイン、グラフィックアートに関する研究テーマ 募集テーマ: A部門 グラフィックデザイン、グラフィックアート全般をテーマとする学術研究。B部門 グラフィック文化 非営利・協同センターおよび、社会保険、医療、経営管理労働問題など、研究所の定款に採りあげた分野に、人々の「ものごとくし」に関わる社会的・経済的・政治的	(1)大学に在籍する研究者(教員または大学院生) ※募集元HP参照	1件あたり50万円/年を上限(助成期間は1年または2年)	必着(募集開始2022/04/01)	#https://dnpcfp.jp/foundation/grants/#
2022/6/20	特定非営利活動法人 非営利・共同総合研究所のちとせ	2022年度研究助成	労働問題など、研究所の定款に採りあげた分野に、人々の「ものごとくし」に関わる社会的・経済的・政治的	(1)個人研究: 1名による研究・実践研究 (2)共同研究: 2名以上による研究・実践研究	(1)個人研究については50万円以内 (2)共同研究については100万円以内	消印有効	#https://www.inhcc.org.jp/research/subsidi/20220425-subsidiize.html#
2022/6/24	(公財)ロッテ財団	第10回(2023年度)研究助成事業「研究者育成助成・ロッテ産学連携」	①食品のマーケティング ②食文化 ③嗜好性(おいしさ・味覚) ④栄養・機能性 ⑤食品安全・衛生 ⑥その他分野横断的領域	・本年4月1日時点で40歳以下の博士号所得者。 ・助成開始後の受け入れ研究機関が国内の大学・短期大学・高等専門学校・および公的研究機関であること。 ※詳細はHP参照	1,500万円/年×1件以内、最長5年間助成 助成開始後2年以内	2022/6/24(12時)正午まで ・Web申請 Zoom説明会 4/14(水)4/20(水)4/22(金)4/25(月)5/10(火) 12時～および16時～(各回約30分)	#http://www.lotte-isf.or.jp/applicants1.html#
2022/6/30	(公財)日本証券奨励財団	2022年度 ①研究調査助成 ②研究出版助成	社会科学の各分野	・大学又は研究機関等において学術的研究調査に従事している55歳以下(本年4月1日現在)の研究者。 ・大学院博士課程(博士後期課程)に在籍する者 ・大学院生に在籍していること ※②は申請時に完成原稿を提出し、当年度3月までに出版すること	①研究調査助成 100万円程度/件 (総額1,000万円を予定) ②研究出版助成 50～100万円程度/件 (総額500万円を予定)	募集期間: 2022/4/1～6/30(必着)	#https://jsf.or.jp/index.html#
2022/6/30	(公財)KDDI財団	KDDI Foundation Award	ICTとその利活用による社会課題を解決するなど、社会の持続的発展に寄与する技術、産業、制度、社会、文化、医療等の研究。 ①当該研究に関する優れた個人研究または共同研究 ②当該研究期間内に公開された当該研究に関する特許に優れた研究業績(単行本あるいは論文1編以上)	日本の研究機関に所属する研究者(個人)、海外の研究機関に所属する日本人研究者(個人)。 原則45歳以下。	KDDI Foundation Award本賞 2件 200万円/件 KDDI Foundation Award 業績賞 2件 50万円/件	※厳守	#https://info.kddi-foundation.or.jp/6428/#
2022/6/30	公益信託 田島健堂語学研究基金	2022年度 ①研究助成 ②学術賞(田島健堂賞)	①語学研究に関する優れた個人研究または共同研究 ②当該研究期間内に公開された当該研究に関する特許に優れた研究業績(単行本あるいは論文1編以上)	大学・大学院の教員、又は大学院博士課程に在籍する学生若しくは運営委員会が認める者(国籍問わず)	①最大件数程度 総額50万円以内 ②50万円	当日消印有効 博士課程(前期・後期)可。ただし、本学での経費管理不可。	#http://goikenyuhui.xdomain.jp/#
2022/6/30	(公財)医療科学研究所	2022年度(第32回)研究助成	①医療及び医薬品に関する経済学的調査・研究 ②医薬品等に関する開発・生産・流通に関する調査・研究 ③医療とその関連領域の学際的調査・研究 ④指定課題研究 ※指定課題研究のテーマ、対象外研究についてはHP参照	医療経済、医療制度、医療政策、社会保障政策、医療政策実証政策、その他広く医療に關して、優れた萌芽的研究あるいは創発的研究を目指す個人またはグループ(主たる研究者は、2022年4月1日現在で40歳以下であることが望ましい)	50万円～100万円/件 助成件数: 7～10件程度 ①・助成総額700万円以内	必着	#http://www.iken.org/assist/about.html#
2022/6/30	(公財)住友財団	環境研究助成	①一般研究 環境に関する研究(人文科学・社会科学・自然科学)分野不問。 ②課題研究 2022年度募集課題 「ウズボストコロナの時代における環境問題の理解および解決のための学際的研究または国際共同研究」 ③「自然の機能をものづくりに活用することを旨とする研究(例: 素材開発、バイオテクノロジー、エネルギー、環境、医療、ロボティクス・AI、建築、まちづくり・コミュニティ、メカトロニクス、健康・生活分野などに活用する研究)」 ④「ものづくりテーマ」 ⑤「基礎研究テーマ」	研究者個人または研究グループ 日本の大学等の研究機関に所属し、機関長の承認がとれること(国籍不問)	(1)一般研究 最大500万円/件 助成件数50件程度 (2)課題研究 最大1,000万円/件 助成件数30件程度	24:00 ※2022年度よりWeb申請	#http://www.sumitomo.or.jp/#
2022/6/30	積水化学工業株	2022年度「自然に学ぶものづくり」研究助成	①「自然の機能をものづくりに活用することを旨とする研究(例: 素材開発、バイオテクノロジー、エネルギー、環境、医療、ロボティクス・AI、建築、まちづくり・コミュニティ、メカトロニクス、健康・生活分野などに活用する研究)」 ②「ものづくりテーマ」 ③「基礎研究テーマ」	独立した個人研究、または複数人の連携による共同研究が対象	①「ものづくりテーマ」 最高500万円/件×6件程度 ②「基礎研究テーマ」 最大300万円/件×6件程度 ③②あわせて総額2500万円	オンライン登録 ※申請書等の送付は7月1日(金)必着	#https://www.sksui.co.jp/news/2022/1373574.39138.html#
2022/6/30	(公財)ファイザーヘルスサーチ振興財団	第31回(2022年度)研究助成 ①国際共同研究 ②国内共同研究(年齢制限なし) ③国内共同研究(満39歳以下)	将来的に「ものづくりに活用が期待される創発的・先駆的国内におけるヘルスサーチ領域の問題解決型共同研究」 重点分野あり。 (※詳細は募集元HP参照)	保健・医療・福祉及びその関連領域において研究を志向する国内在住者(民間企業等の営利団体所属者を除く) ①国際共同研究: 海外研究者を1名以上含めること。 ②国内共同研究(年齢制限なし): 同一教室内研究者のみとの共同研究は対象外。 ③国内共同研究(満39歳以下): 1982年4月2日以降生まれ、同一教室内研究者のみとの共同研究は対象外とし、	①上限300万円/件×8件程度 ②上限130万円/件×14件程度 ③上限100万円/件×14件程度	※郵送での受付不可 ・財団HPの応募フォームから提出	#https://www.health-research.or.jp/content/index.html#
2022/6/30	(一財)河川情報センター	令和4年度河川情報センター研究助成	①水災害に係る水理・水文(洪水予測・洪水氾濫を含む)に関する研究 ②水害リスク情報に関する研究 ③河川情報の提供に関する研究 ④水災害情報の収集・共有に関する研究 ⑤水災害軽減に向けた地理空間情報との連携に関する研究 ⑥地域防災力向上に関する研究 ⑦災害危機管理に関する研究	わが国の大学等において常勤の職に就き、経営者教育、経営学、ファイナンス、ITマネジメントを中心とする分野の研究に従事する個人、または当該資格を有する者を研究代表者とするグループ	200万円/件(標準)×4～5件 100～300万円の範囲内で助成	メール申請	#http://www.river.or.jp/koeki/jyousei/2022.html#
2022/6/30	(公財)野村マネジメント・スクール	2022年度学術研究支援(研究助成)	経営者教育、経営学、ファイナンス、ITマネジメントに関する調査・研究プロジェクト	わが国の大学等において常勤の職に就き、経営者教育、経営学、ファイナンス、ITマネジメントを中心とする分野の研究に従事する個人、または当該資格を有する者を研究代表者とするグループ	100万円/件 総額は最大で1,000万円程度。	募集期間: 2022/4/15～6/30(17時)必着	#https://system.nsam.or.jp/login/index.html# #https://system.nsam.or.jp/login/index.html#
2022/6/30	(公財)住友財団	基礎科学研究助成	理学(数学、物理学、化学、生物学)の各分野及びこれらの複数がまたがる分野の基礎研究で新芽的なもの(それぞれの分野における工学の基礎となるものを含む。)	「若手研究者」(個人またはグループ) ※研究者の所属が営利企業(業務を含む)の場合には応募不可	最大500万円/件 助成件数50件程度	24:00 ※2022年度よりWeb申請	#http://www.sumitomo.or.jp/#
2022/6/30	(一財)日本内部監査研究所	2022年度「研究助成」	内部監査及び関連分野に関する調査研究	日本国内の教育機関において、会計学、商学、経営学、経済学、法学、情報学等の調査研究に従事している個人で、申請時点で常勤の准教授、助教等(特任教員を含む)	50万円以内/件	消印有効	#https://jarf.org/wp/research-grant/#
2022/6/30	(一財)キャンノ財団	2022年度研究助成プログラム ①「若き未来をひらく科学技術」 ②「新産業を主軸科学技術」	①「若き未来をひらく科学技術」 未来社会に予想される社会課題を解決して若き未来を実現するための革新的な科学技術研究を助成するプログラム ②「新産業を主軸科学技術」 世の中でまだ知られていない新しい産業の創出につながる自然科学の基礎研究(物理学、地学、化学、生物学のうち、本年は化学)	日本国内の大学、大学院、高等専門学校、公的研究機関等に勤務する研究者	①: 上限3,000万円/件×3件程度 ②: 上限2,000万円/件×10件程度	申請期間: 2022/6/1(10時)～6/30(15時)	#https://jp.foundation.canon/#
2022/7/5	(公財)伊藤科学振興会	第55回(2022年度)伊藤科学振興会研究助成	①「若き未来をひらく科学技術」 未来社会に予想される社会課題を解決して若き未来を実現するための革新的な科学技術研究を助成するプログラム ②「新産業を主軸科学技術」 世の中でまだ知られていない新しい産業の創出につながる自然科学の基礎研究(物理学、地学、化学、生物学のうち、本年は化学)	博士の学位を有し、2022年4月1日現在40歳以下の研究者	100万円(上限)/件×3～4件。賞状も授与。	応募期間: 2022/4/20～7/5	#http://www.itoka.or.jp/p4.html#
2022/7/8	(公財)コーセーコスメロジック研究財団	①コスメロジー研究助成 ②国際交流助成 ③学術協会支援助成	①コスメロジー(化粧品)の進歩・発展に寄与する創発研究 ②身体作用・安全性に関する分野 ③精神、文化に関する分野	日本国内の教育機関に所属する研究者で、所属機関の長の推薦を受けたもの。	①200万円、又は100万円、50万円(選考委員会の裁定による) ②主に海外国際会議等への出席のための派遣費用助成とし、留学の場合は往復旅費および滞在費(但し総額50万円まで) ③主に発表関連用品や運営費用の補助(但し、総額50万円まで)	※消印有効	#https://www.kose-cosmetology.or.jp/research_support/researchSupport3.html#
2022/7/15	(一財)日本国土開発未来研究財団	2022年度(第5期)学術研究助成事業	世界が目標とするSDGsの達成を目指し、豊かな社会づくりに寄与する建設分野(土木、建築、環境、機械、情報科学など)の研究テーマのうち、以下のいずれかに関連するもの ①カーボンニュートラル等のグリーン社会実現に貢献可能な技術 ②防災、減災、復旧復興といった災害に対応する技術	国内の大学・高等専門学校等の学校、研究機関に常勤し、対象となる研究を行う研究者あるいは常勤する研究者を中心とし構成される研究グループ	上限500万円/件×最長3年 助成件数は5件以内	消印有効	#http://www.jdc-miraizaidan.or.jp/guide/gakujutsukenkyu.html#
2022/7/15	(公財)KDDI財団	2023年度 ①調査研究助成 ②目的型調査研究・諸活動助成 ③国際会議開催助成	①ICTが拓く新たな未来社会をテーマとし、ICTの普及・発展、グローバル化、ICTを利活用した社会的課題の解決に寄与する調査、研究(技術、産業、制度、社会、文化、医療等)。 ②SDGs促進の観点に立ち、日本国内におけるデジタル・デバイドの解消に貢献する調査研究または活動。 ③工業界・産業界などおよびこれに関連する装置・部品・材料などの製造技術および生産技術に関する次の基礎研究ならびにその実用化研究 ①燃焼技術 ②エネルギーおよび熱利用技術 ③環境保全および省エネルギー技術 ④炭素素技術 ⑤その他の関連技術	①日本の大学、高等、研究機関に属する研究者、ポスドク、大学院生。 ②日本の大学、高等、研究機関に属する研究者、ポスドク、大学院生または団体。 ③2023年4月から2024年8月末日までに開催される国際会議。	①300万円/件まで(院生は100万円まで)採択10件程度。 ②300万円/件まで(院生は100万円まで)、採択2件程度。 ③50万円/件まで、採択3件程度。	募集期間: 2022/7/4～7/15 17時必着 ※KDDI財団応募システムより申請。院生可。ただし本学での収支管理は不可。	#https://www.kddi-foundation.or.jp/grant/program.html#
2022/7/20	(公財)谷川熱技術振興基金	令和4年度助成研究実施者募集	①燃焼技術 ②エネルギーおよび熱利用技術 ③環境保全および省エネルギー技術 ④炭素素技術 ⑤その他の関連技術	①KONA賞 粉体工学の基礎研究に従事し、かつ優れた研究業績を挙げた研究者1名 ②研究助成 国立私立大学、その他の教育・研究機関において粉体工学に関する基礎研究に従事している研究者 ③粉体工学に関する基礎研究に従事する大学院の学生を対象とし、申請時において、博士後期課程の1.2年次に在籍する者、または同課程に進学予定の者 ④粉体工学に関する国際的なシンポジウム等の開催費	①約10件程度、助成金総額1,400万円	必着	#http://www.disclo-koeki.org/04a/0070/#
2022/7/20	(公財)ホソカワ粉体工学振興財団	令和4年度助成事業	①粉体工学に関する調査(KONA賞) ②粉体工学に関する研究助成 ③粉体工学に関する研究者育成の奨励(奨励対象) ④粉体工学に関するシンポジウム等の開催助成	①KONA賞 粉体工学の基礎研究に従事し、かつ優れた研究業績を挙げた研究者1名 ②研究助成 国立私立大学、その他の教育・研究機関において粉体工学に関する基礎研究に従事している研究者 ③粉体工学に関する基礎研究に従事する大学院の学生を対象とし、申請時において、博士後期課程の1.2年次に在籍する者、または同課程に進学予定の者 ④粉体工学に関する国際的なシンポジウム等の開催費	①KONA賞 賞状および副賞100万円 ②研究助成金 100万円以下、20件程度。③1件当たり30万円(年額)、10件、総額300万円。④1件当たり50万円～100万円、総額100万円。	必着 ③については院生対象。ただし本学での収支管理は不可。	#http://www.kona.or.jp/jp/grants/index.html#
2022/7/25	(公財)松下幸之助記念志財団	2022年度 松下幸之助国際スカラーシップ	アジア、アフリカ、ラテンアメリカ諸国の大学・大学院及び政府研究機関に所属する若手研究者で、「諸外国との相互理解による国際社会への貢献」に寄与する研究(人文科学・社会科学の領域)を志す海外留学 (※詳細はHP参照)	日本の大学・大学院・研究機関に在籍する研究者として在籍する者 ・日本国籍または永住許可されている国内在住者 ※他条件あり、HP参照のこと。	14万円/月 ・学歴生: 5名程度 ・大学院生・研究機関に在籍者: 15名程度	院生可	#https://matsushita-konosuke-zaidan.or.jp/works/jpn/promotion_jpn_01.html#

法人種別	団体名	事業名	対象分野	募集対象	助成内容	備考	HP
2022/7/28	(公財) 稲盛財団	2023年度稲盛科学研究機構フェロシップ	基礎科学分野 知的好奇心と大きなビジョンに基づいて挑戦的な研究に取り組む研究者に対する長期的な助成 2023年度は、「水平線の彼方の情報学」に関する研究を対象とします。	下記すべてを満たすこと ・日本に居住し、募集要項を送付した大学・機関に所属し、常勤雇用されていること。 ・独立研究者で、大学の所属は准教授以上。 ・助成年度開始時に50歳以下(2023年4.1現在)	1,000万円/件×10年間×2名	募集期間:2022/5/23(9時)~7/28(17時まで) ・Web申請(郵送不可) ※学内締切:2022/07/15(金)小金井事務課宛てに申請のこと。(1機関の申請件数4件までのため。)	#https://www.inarimori-f.or.jp/inaris#
2022/7/29	(公財) 生協総合研究所	2022年度生協総研 第20回助成事業	・生活協同組合の命題的な課題及び事業・組合員活動に関する実践的な研究 ・くらしの実態に関する経済的、社会的、歴史的視点等からの研究 ・消費社会及び消費者組織、社会運動に関する研究 ・地域社会、社会政策、福祉政策・事業、地球環境等に関する研究 ・大規模災害後の被災地域が直面している課題に関する研究	①個人研究: 大学・各種研究所等の研究者・大学院生・博士(学芸)・市民組織等の役員・関係者等による個人の研究・調査を主な対象とする。 ②共同研究: 「個人研究」の対象者と同様。ただし、申請者(研究代表者)を中心として、若干名の参加メンバーによって構成し、研究する者を対象とする。	総額300万円を原則として、個人研究、共同研究ともに1件50万円以内	※メールでの提出が必要	#https://ccij.jp/yosei/yosei.jigyو.html#
2022/7/29	(公財) お酒の科学財団	2023年度研究助成	1. 一般研究領域 (1) 臨床・精神医学領域 (2) 臨床・内科学領域 (3) 公衆衛生学領域 (4) 心理学領域 2. 特定研究領域 2023年度はICTやAIを活用した評価や介入に関する研究とする。	日本国内の大学、研究所に所属する研究者。 ※大学院生、学生、企業に所属する研究者は共同研究者として助成研究に参加することは可能だが代表者としての応募は不可。	研究期間は2年間(2023年4月から2025年3月末まで) 上限400万円	17時締切	#https://www.osake-kagaku.or.jp/grant/#
2022/7/29	(公財) リソナアジア・オセアニア財団	2023年度アジア・オセアニア研究助成	アジア・オセアニア諸国・地域に関する人文・社会科学分野(社会、文化、歴史、政治、経済等)の調査・研究活動や国際会議等の開催、調査研究成果にかかる出版物の刊行を支援	①②③共通: 日本の大学または研究機関等の所属者から推薦を得られる方 ①のみ: 2023年4月1日時点で、満39歳以下(原則)	①助成期間:1年もしくは2年 助成金額:50万円~100万円(共同研究は50万~200万円) ②助成期間:1年間 助成金額:50万~200万円 ③助成期間:1年 助成金額:50万~120万円 300万円/件 助成件数:10件	応募期間:2022/5/16~7/29(必着)	#https://www.resona-ao.or.jp/project/promotion/index.html#
2022/7/29	(公財) 中部科学技術センター	第33回 令和4年度人工知能研究助成	人工知能及び関連技術分野(人工知能を活用した情報処理技術、情報通信技術等)の高度化に関する革新的な研究及び開発 (※詳細はHPを参照)	日本国内の大学、研究所に所属する研究者。研究機関に属する個人または研究グループ	研究期間は2年間(2023年4月から2025年3月末まで) 上限400万円	募集期間:2022/7/1~7/29(必着)	#http://www.cstc.or.jp/#
2022/7/29	(公財) 長寿科学振興財団	令和5年度 長生きを喜ぶ長寿社会実現研究支援	主課題:長生きを喜ぶ長寿社会の実現~生きがいのある高齢者を増やす ・主課題を達成するため、課題解決になる実用的な方法の研究開発から本格的な社会実装を含めた一機通貫の課題解決型のプロジェクトを採択し支援 ※詳細はHP参照	提案者であるプロジェクトのリーダーが国内の団体(大規模企業等)に所属し当該団体においてプロジェクトを実施する体制を組成すること	Aステージ: 提案研究 年間上限1000万円×最長2年 Bステージ: 実証研究 年間上限3000万円×最長3年 Cステージ: 社会実装 年間上限3000万円(助成率は総事業費の3分の1まで)×最長3年 Dステージ: 展開 年間上限2000万円(助成率は総事業費の10分の1まで)×最長2年	応募期間:2022/7/1~7/29	#https://www.tyogyu.or.jp/zaidan/about-jigo/koueki/new-shien-2.html#
2022/7/30	(公財) 鈴木謙三記念医科大学応用研究財団	令和4年度調査研究助成	課題1:より豊かな生活に貢献する医療技術に関する研究 (1) 日常生活活動・機能の非侵襲的な測定装置の開発 (2) QOLの向上を目指した医療技術の開発 課題2:生活習慣病における医学、薬学の萌芽的研究 (1) 病態の解明と病態モデルの開発 (2) 生理活性物質と創薬に関する研究 課題3:心臓電気現象の異常を探し医療の明日を拓く研究	国、公、私立の大学、研究所、病院などの研究機関において、本助成事業の趣旨に沿った調査研究に従事しているもの。 他、助成課題については (1) 選考委員及び本財団から過去5年以内に助成を受けた方は対象外 (2) 助成を受けた方と同教室で類似テーマでの申請は不可 (3) 応募は、1教室(1研究室)から1課題 (4) 課題2は、満45歳以下(昭和51年(1976年)8月1日以降生まれ)の研究者が対象	採択件数:2件程度 課題1:1件につき500万円以下 課題2、課題3:1件につき300万円以下	消印有効 ※所属機関長の推薦が必要	#https://www.suzukenzaidan.or.jp/bosyu/index.html#
2022/7/31	(株) リハネス	第57回リハネス研究賞 ニッスイ賞	健やかな生活とサステナブルな暮らしを実現する、新しい「食」を創造する研究	・大学・研究機関に所属する40歳以下の研究者 ・海外に留学中の方でも申請可能 ・研究機関に所属して研究を始めていれば、学部生からでも申請可能	採択件数:若干名 助成内容:研究費50万円	18時	#https://r.lne.st.grant/57_nissui/#
2022/7/31	(株) リハネス	第57回リハネス研究賞 茂藤精工賞	お米に関するあらゆる研究 人文科学、社会科学、生物学、農学、栄養学、機械工学、建築学、環境学・制御工学など幅広い科学・技術分野の研究	・大学・研究機関に所属する40歳以下の研究者 ・海外に留学中の方でも申請可能 ・研究機関に所属して研究を始めていれば、学部生からでも申請可能	採択件数:若干名 助成内容:研究費50万円	18時	#https://r.lne.st.grant/57_suzumo/#
2022/7/31	(株) リハネス	第57回リハネス研究賞 ダスキン開発研究賞	質の高い「キレイ・健康」を実現する衛生環境を整える、あらゆる研究	・大学・研究機関に所属する40歳以下の研究者 ・海外に留学中の方でも申請可能 ・研究室に所属して研究を始めていれば、学部生からでも申請可能	採択件数:若干名 助成内容:研究費50万円	18時	#https://r.lne.st.grant/57_duskin/#
2022/7/31	(公財) 国際科学技術財団	2023年「平成記念研究助成」	社会的課題の解決に資するための知識統合・連携型研究(文理不問)	(1)年齢制限がないが、45歳程度までの人材の発掘を想定。 (2)個人あるいは少数のグループの提案を奨励。 (3)国内の大学、公的機関、企業、市民組織等に所属し、助成期間を通じて当該研究を継続できること。 (4)研究対象者は所属組織の長(学部長、学部長、研究科長)の推薦による。	500万円~1,000万円程度/件×4~8件程度		#https://www.japanprize.jp/subsidy.yoko.html#
2022/7/31	(公財) 法人発財研究所	2023年度研究助成 ①一般研究助成 ②大型研究助成 ③若手研究者助成 ④学会・研究部会助成	(1)微生物の分類(分類、分類、保存) (2)微生物の基礎研究(生化学、構造、遺伝、生理、生態、進化など) (3)微生物の応用研究(発酵、生理活性物質、プロバイオティクス、環境保全、バイオエネルギーなど) ①②上記の(1)(2)(3) ④は上記の(1)	①一般研究助成 300万円 ②大型研究助成 1,000万円 ③若手研究者助成 300万円 ④学会・研究部会助成 500万円	募集期間:2022/7/1(9時)~7/31(12時)	#http://www.ifo.or.jp/research/info.html#	
2022/8/1	第一三共(株)	TaNeDS(タネデス)共同研究公募	・新薬テクノロジー研究 ・疾患領域別の研究 ・第一三共のモダリティ技術活用研究 (募集テーマは募集元HP参照)	日本国内の研究機関(民間企業)に所属し、国内で研究進行可能な研究者(学生不可)。	総額1000万円まで(間接経費込、税抜) ※研究内容により1000万円以上も可能	17時	#https://www.daichisankyo.co.jp/corporate/rd/tanedes/index.html#
2022/8/1	やずや食と健康研究所	2022年度研究助成 ①チャレンジ部門 ②研究グループ部門	①チャレンジ部門: 大テーマ「食と健康」 小テーマ「食の安全」、「食と予防医療」、「食と運動」、「食と生活」、「食と社会」、「食と食育」、「食と文化」、「食と健康にかかわる歴史」、「その他」 ②研究グループ部門: 「食と勉学」、「食と睡眠」、「食とスポーツ・運動」	①チャレンジ部門: 2022年8月1日(日)10時 ・資格・役職不問 ・研究経験が浅く、新しい研究にチャレンジしたいと考えている若手研究者。 ・応募者と指導者ペアでの応募。 ②研究グループ部門: ・年齢・役職不問。 ・論文投稿を前提とする研究デザインであること。 ・※①②とも、報告・論文作成などで日本語でのコミュニケーションが可能であること。 ・体育学、健康科学、人間工学、被服科学、運動施設工学等健康の増進と体力の向上に関わる学術、およびその他スポーツ振興に寄与する学術研究に関する講座を持った大学、およびこれに準ずる研究機関に所属する個人またはグループ	①最大50万円(助成金とは別に指導者へ一律5万円を支給) ②150万円以下(2/51~100万円のうち、該当する希望助成金額)	応募期間:2022/7/1~2022/8/1(17時締切) ※チャレンジ部門は院生可。ただし本学での研究費管理は不可	#https://yazuken.jp/subsidy/outline/#
2022/8/5	(公財) 石本記念サテライトスポーツ科学振興財団	第45回(2023年度)公益財団法人石本記念サテライトスポーツ科学振興財団学術研究募集	■課題学術研究 本年度テーマ ①自然環境下における運動パフォーマンスサポートまたは快適性を向上させるウェア、用品に関する研究 ②運動時におけるウェアの快適性向上の手法、あるいは快適性を向上させる新たな手法/指標に関する研究 ③運動後のウェアの快適性と皮膚感覚に関する研究 ④ウェアによる身体の動きやすさへの影響に関する研究 ■自由課題学術研究	日本国内の大学および大学院、高等専門学校、その他デバイス・ウェア開発プロセスに必要となる、ニーズおよびシーズ技術と適合する研究テーマ	■課題学術研究 100万円/件、2~4件 ■自由課題学術研究 最優秀入選100万円(2~3件) 優秀入選50万円(17~18件)合計20件		#http://www.descente.co.jp/shimoto/#
2022/8/12	東京エレクトロン(株)	2022年度共同研究公募	半導体-FPD(フラットパネルディスプレイ)の製造技術やデバイス・ウェア開発プロセスに必要となる、ニーズおよびシーズ技術と適合する研究テーマ	日本国内の大学および大学院、高等専門学校、その他デバイス・ウェア開発プロセスに必要となる、ニーズおよびシーズ技術と適合する研究テーマ	(1)大型研究 年間1,500万円以内、3年間総額4,500万円を上限 (2)中型研究 年間500万円以内、3年間総額1,500万円を上限 (3)小型研究 年間150万円以内、3年間総額450万円を上限 金額は応募した研究計画(研究内容、予算等)に応じて決定。	応募期間:2022/8/1~8/12(必着)	#https://www.tel.co.jp/rd/jointresearch/#
2022/8/17	武田薬品工業(株)	研究公募OOKPI-Funding 2022	指定する研究領域に関する創発アイデア(創薬ターゲット、創薬技術等)。 (※詳細は募集元HPを参照)	募集対象地域 ・日本、オーストラリア、韓国、シンガポール、ニュージーランド、台湾 ・募集対象地域内の大学、公的機関、企業等に所属する研究者	・疾患領域別研究型:間接経費最大1000万円(相当額)程度 ・プラットフォーム型:間接経費最大500万円(相当額)程度	※9/5(月)17:00に延長	#https://www.takeda.com/jp/what-we-do/research-and-development/open-innovation/ookpi-t/#
2022/8/19	(公財) 中島記念国際交流財団	令和5年度日本人若手研究者研究助成金	生命科学・生命科学(原則個人研究)	37才以下(令和5年4月1日現在)	研究助成 500万円以内/件 (総額500万円以内)	応募期間:2022/8/1~8/19(17時必着)	#https://www.nakajimafound.or.jp/koubu.htm#
2022/8/22	パワーアカデミー事務局	2022年度パワーアカデミー研究助成 ①特別推進研究 ②萌芽研究 (個人型・チーム型共同研究・博士課程学生枠)	電気工学分野 (※詳細は募集元HP参照)	①特別推進研究 日本国内の異なる大学または高等専門学校に所属する複数の常勤の教員からなるチーム。 ②萌芽研究 【個人型・チーム型】日本国内の大学または高等専門学校に所属する常勤の教員もしくは博士課程在学学生(チーム型の場合、異なる専門分野に従事する複数人(最大5名))。 【博士課程学生枠】:2023年度に博士後期課程在籍中または博士課程在学、本研究期間中に提出し採用されること。 【共同利用機関】:高等専門学校の、主体的に研究を進めている常勤の研究者。 ・任付研究者の場合、応募時点で申請する研究期間のうち少なくとも初年度の雇用が見込まれること(注)・1977年1月1日以降生まれであること。 ほか 注:本学の規程に準じ、専任教員の雇用期間内に、研究期間が収まるよう配慮してください。	①1,000万円程度×1件 ②上限100万円/人 個人型とチーム型共同研究を合わせて16件程度 ※チーム型の場合、チーム間連携のため別途20万円/人+加算 博士課程学生枠×5件程度 ※助成金額の50%を上限に RA費用として計上すること	15時締切 ※②は院生(博士後期課程)可となっておりますが、本学では機関管理不可のため、代表者としてはご応募いたしません	#https://www.power-academy.jp/info/2022/003366.html#
2022/8/22	(一社) 日本鉄鋼協会	第32回鉄鋼研究振興助成(含む石原・浅田研究助成)	鉄鋼および鉄鋼に関連する材料・プロセスに関する分野の学術及び技術の発展に寄与する研究。	①特別推進研究 日本国内の異なる大学または高等専門学校に所属する複数の常勤の教員からなるチーム。 ②萌芽研究 【個人型・チーム型】日本国内の大学または高等専門学校に所属する常勤の教員もしくは博士課程在学学生(チーム型の場合、異なる専門分野に従事する複数人(最大5名))。 【博士課程学生枠】:2023年度に博士後期課程在籍中または博士課程在学、本研究期間中に提出し採用されること。 【共同利用機関】:高等専門学校の、主体的に研究を進めている常勤の研究者。 ・任付研究者の場合、応募時点で申請する研究期間のうち少なくとも初年度の雇用が見込まれること(注)・1977年1月1日以降生まれであること。 ほか 注:本学の規程に準じ、専任教員の雇用期間内に、研究期間が収まるよう配慮してください。	件あたり総額100万円以上最大300万円を限度。助成金総額は年間150万円以内、かつ刊行費用の半額以下、総額400万円程度 採択予定数35件以内、20件程度は若手優先	応募期間:2022/7/1~8/22 17時必着 詳細はHP参照	#https://www.isij.or.jp/subcommittee/promotion/shinkou2022.html#
2022/8/26	(公財) 旭硝子財団	2023年度研究助成 ①化学・生命分野 ②物理・情報分野 (※詳細は募集元HPを参照)	①化学・生命分野 ②物理・情報分野 (※詳細は募集元HPを参照)	・主たる勤務先が国内の大学とその附属研究所、大学共同利用機関、高等専門学校の、主体的に研究を進めている常勤の研究者。 ・任付研究者の場合、応募時点で申請する研究期間のうち少なくとも初年度の雇用が見込まれること(注)・1977年1月1日以降生まれであること。 ほか 注:本学の規程に準じ、専任教員の雇用期間内に、研究期間が収まるよう配慮してください。	①100万円以内/件 共同研究は150万円以内/件。助成総額2,500万円程度は年間150万円以内/件、かつ刊行費用の半額以下、総額400万円程度	応募期間:2022/8/1~8/26	#https://www.af-info.or.jp/research/apply.html#
2022/8/31	(公財) 全国銀行学術研究振興財団	2022年度学術研究助成事業 ①研究助成 ②刊行助成	経済・金融およびこれらに関する法則に係る研究。 (経済分野では経済理論、経済統計学、経済政策、経済学、財政学、金融論およびこれらに関するもの、法律分野では民法、商法、経済法、その他の金融・経済に関する法律。)	・60歳未満(本年4月1日現在の)日本の大学の教授、准教授、講師、助教、助手、研究員(本年度より非常勤も可)に所属する研究者(共同研究者は大学院生、外国の大学に在籍している外国人研究者を含む)。 ・①研究助成は、若手研究者(40歳未満)優先。	①100万円以内/件 共同研究は150万円以内/件。助成総額2,500万円程度は年間150万円以内/件、かつ刊行費用の半額以下、総額400万円程度	応募期間:2022/7/1~8/31 メール送付 ※兼任・非常勤の方も応募が可能となっておりますが、本学では助成金の管理は厳しかねません。	#https://www.jade.ti.ne.jp/bankfund/#
2022/8/31	(公財) 加藤記念バイオサイエンス振興財団	第34回(2022年度)国際交流助成 国際交流助成(社会人大学院生等)での研究成果の発表(参加経費助成)	2022/4/1~2023/3/31の期間に、海外で開催されるバイオサイエンス分野の学会・シンポジウム等での研究成果の発表(参加経費助成)	・日本国内の大学及びこれに在籍する大学院生による共同研究(共同研究者は大学院生、外国の大学に在籍している外国人研究者を含む)。 ・①研究助成は、若手研究者(40歳未満)優先。	渡航地域により10万円~30万円。 年間予算総額150万円程度(上期下期合わせて35件程度)	募集期間: 上期:2022/1/4~2/28 下期:2022/7/1~8/31 ※1推薦者あたり、2名以上の推薦は不可。推薦を受けた者は、推薦者に要相談。※院生可(社会人大学院生は一定の割合あり)。ただし本学での取次管理 募集期間:2022/7/01(9時)~8/31(17時まで) ・Web申請(郵送不可)	#https://www.katokinen.or.jp/applications/3_zokoku_zyo.html#
2022/8/31	(公財) 稲盛財団	稲盛研究助成	自然科学、人文、社会科学の分野で、独創的で優れた研究に取り組む若手研究者に対する短期的な助成	年齢:自然科学系は2022年4月1日時点で40歳以下、人文・社会科学系は50歳以下。 下記すべてを満たすこと ・日本に居住し、募集要項を送付した大学・機関に所属し、常勤雇用されていること。 ・助教相当以上。 ・主体的に研究を行っていること。	100万円/件×50名 (自然科学系40名、人文・社会科学系10名)	募集期間:2022/7/01(9時)~8/31(17時まで) ・Web申請(郵送不可)	#https://www.inarimori-f.or.jp/inaris#
2022/8/31	(株) リハネス	第57回リハネス研究賞 吉野家賞	「はたらく」を深めるあらゆる研究(ロボティクス、データサイエンス、情報通信、XR、コミュニケーション、薬学、医学、材料工学、電子工学、人間行動学、心理学、経済学、建築学、デザイン、ものづくり、など分野を問わず幅広い科学・技術分野の研究)	・大学・研究機関に所属する40歳以下の研究者 ・海外に留学中の方でも申請可能 ・研究室に所属して研究を始めていれば、学部生からでも申請可能	採択件数:若干名 助成内容:研究費50万円+店舗等研究・実証試験フィールドとして提供	18時	#https://r.lne.st.grant/57_yoshinoya/#
2022/8/31	(公財) リソナアジア・オセアニア財団	2023年度リソナ環境助成	アジア・オセアニア地域において、現地活動者と協働して現地の環境問題解決へ取り組む革新的な実践活動。実践活動とは、自然再生活動、自然環境保全活動、自然との共生活動、それらに付随する教育活動等、自立・持続的な活動への展開が見込めるもの。	1. 日本において環境保全活動や国際協力活動を行う団体・会社・大学等に所属する者、もしくは海外で環境保全活動や国際協力活動を行う日本人。 2. 活動地において専業運行可能な適切な活動経路と実績がある者、もしくは年齢が35歳以下で相応の活動経験等がある者の指導を受けることが出来る者。 3. 活動地域である現地において、当該事業活動の共同推進者(協力者)がいる者。	助成期間:1年~3年 助成金額:100万円/年 採択数:4~6件	応募期間:2022/5/16~8/31(必着)	#https://www.resona-ao.or.jp/project/environment/index.html#
2022/8/31	(公財) NEC C&C財団	2022年度後期 国際会議論文発表者助成	海外で開催される国際会議においてC&C技術分野に関する論文発表を行った大学院の学生に対して、旅費費用等を補助	・日本国内の大学及びこれに在籍する大学院生による共同研究(共同研究者は大学院生、外国の大学に在籍している外国人研究者を含む)。 ・①研究助成は、若手研究者(40歳未満)優先。	1件当たりの助成額は12~25万円	Email必着 (郵送不可) 要指導教員の推薦書。	#http://www.candc.or.jp/yosei/yosei_koku_sai.html#
2022/8/31	(一財) 全国勤労者福祉・共済振興協会(全労済協会)	2022年度公募委託調査研究	募集テーマ:「ともに助けあい、支えあう社会をめざして」 募集する研究:「共済・保険」協同組合「相互扶助組織」 「社会保障・社会政策」に関する研究等(詳細は募集元HP参照)	主たる研究拠点が日本国内にあり、下記のいずれかに該当する日本語での申請書・報告書の作成と報告可能な研究者・生。 ・大学に所属する研究者 ・研究機関に所属する研究者 ・大学院生(博士課程在籍者)・研究員 ・原則として応募時点で来就学児の育児を行っていること。 ・原則として修士課程資格取得者または、博士課程在籍・資格取得者であること。 ・現在、大学・研究所等に在籍しているか、その意向があること。	上限100万円/件×3件以内	17時必着 ※院生(博士後期課程)可。ただし本学での取次管理は不可。	#https://www.zenosakukai.or.jp/thinktank/research/assistance/#
2022/9/9	住友生命保険相互会社	第10回未来を強くする子育てプロジェクト「S・M・E・I」女性研究者奨励賞	現在、育児(原則、未就学児)のため研究の継続が困難な女性研究者および、子育てをしながら研究を行っている女性研究者による、人文・社会科学分野領域で、有意義な研究テーマ	・日本国内の大学及びこれに在籍する大学院生による共同研究(共同研究者は大学院生、外国の大学に在籍している外国人研究者を含む)。 ・①研究助成は、若手研究者(40歳未満)優先。	年間100万円(上限)×2年間×10名程度	(必着) ※科研費・育児休業給付などを受給している方も応募可 ※院生可(博士課程在籍)。ただし本学での取次管理は不可。	#https://www.sumitomo-life.co.jp/about/csr/community/mirai_child/women/#

法人種別	団体名	事業名	対象分野	募集対象	助成内容	備考	HP	
2022/9/9	(公財)旭硝子財団	2023年度サステイナブルな未来への研究助成 ①建築・都市分野 ②人文・社会科学分野 ③環境フィールド研究分野 ④環境フィールド研究分野	①建築・都市分野 ②人文・社会科学分野 ③環境フィールド研究分野 ④環境フィールド研究分野 (※詳細は募集元サイトを参照)	(1)提案研究コース (2)発展研究コース ・主たる勤務先が国内の大学とその附属研究所、大学共同利用機関、高等専門学校、主体的に研究を進めている専任教員の研究者 ・任期付研究者の場合、応募時点で申請する研究期間のうち少なくとも初年度の雇用が見込まれること(注) ・提案研究コースは1977年1月1日以降生まれであることほか 注: 本学の規定に準じ、専任教員の雇用期間内に、研究期間が収まるよう応募してください。	(1)提案研究コース(15件程度) ①100～250万円/件 ②50～150万円/件 ③100～200万円/件 ④250～600万円/件(10件程度) ⑤300～600万円/件 ⑥200～300万円/件 ⑦300～600万円/件 ※ 本学の規定に準じ、他の助成金同様、間接経費5%の計上をお願いします。	募集期間: 2022/8/1～9/9 ※応募時の「機関承認」は研究開発センターでのみ行います ※ 任期付教員は、本学の規定に準じ、専任教員の雇用期間内に、研究期間が収まるよう応募してください	#https://www.af-info.or.jp/research/apply.html#	
2022/9/12	(一社)日本鉄鋼協会	第1回鉄鋼カーボンニュートラル研究助成	鉄鋼業におけるカーボンニュートラルに資する可能性のある研究分野全て ①「鉄鋼プロセス」関連、②「鉄鋼材料」関連、③「鉄鋼副産物」関連、④「鉄鋼以外で鉄鋼CO2に資する可能性のある研究」関連	日本の国公立大学・高等専門学校、公的研究機関に勤務(常勤)する研究者(国籍不問)	100～200万円程度/件 採択件数: 20～40件程度	17時	#https://www.isij.or.jp/subcommittee/promotion/cn1.html#	
2022/9/12	(公財)セコム科学技術振興財団	令和4年度特定領域研究助成	情報セキュリティ分野 ・超スマート社会の「悪」の研究	国内の大学・大学共同利用機関法人・国立研究開発法人に所属する59歳以下の研究者。	1件あたり最大1000万円/年(採択件数程度)×2～3年	応募期間: 2022/8/22～9/12 15時締切厳守 ※所属機関上長(公印のある者)の推薦が必要	#https://www.secomzaidan.jp/tokutei.html#	
2022/9/15	(公財)日立財団	2022年度(第54回)研究助成「倉田奨励金」	1. 自然科学・工学研究部門 国際的な視野で社会問題の解決に資する、若手研究者(45歳以下)による独創的、先駆的な以下3分野の研究(文理融合可) I. エネルギー・環境 II. 都市・交通 III. 健康・医療 2. 人文・社会科学研究部門 科学技術の進歩がもたらす社会の姿容、その背景に潜む複合的な諸問題を人文・社会科学の視点(社会、文化、文学、歴史、哲学、倫理、法律、経済等)から読み解き、科学技術の発展の意味や価値と社会のあり方を探求する研究	・日本国内の大学及びその附属研究施設、研究機関、高等専門学校に所属する研究者 ・大学院生の応募可 ・所属機関長の推薦書が必要 ・国籍不問	1. (1年)最大100万円/件 (2年)最大300万円/件 2. (1年)100万円程度/件	要推薦書 大学院生の応募可。ただし本学での収支管理不可。	#https://www.hitachi-zaidan.org/activities/curata/index.html#	
2022/9/15	(公財)上廣倫理財団	令和4年度研究助成	(1)人間の「生命」「生き方」、社会における「共生」に関する哲学、倫理学、教育学、心理学等、人文社会科学分野からの研究 (2)現代の倫理的課題に関する実証研究及び調査 (3)学校における倫理教育・道徳教育に関する研究	(1)日本国内外の大学・学校及びその附属研究所等の教育機関に在籍し、在籍する機関より応募の承認を得ていること (2)概ね45歳までの研究者(中略)	助成(新規)＝60万円(上限) 助成(継続)＝60万円(上限)	必需	#http://www.rini.or.jp/research_support_keikyujousei01.html#	
2022/9/22	(公財)旭硝子財団	2023年度ブループラネット地球環境特別研究助成	科学・生命・物理・情報・建築・都市、人文・社会科学、環境フィールドの分野で、SDGsの目標に沿った地球環境に関する基礎研究から、社会実装に向けた検証を試みる研究 ※詳細は募集元サイト参照	主たる勤務先が国内の大学とその附属研究所大学共同利用機関、高等専門学校・年齢制限なし・任期付研究者の場合、応募時点で申請する研究期間のうち少なくとも初年度の雇用が見込まれること(注) 注: 本学の規定に準じ、専任教員の雇用期間内に、研究期間が収まるよう応募してください。	採択総数: 5件程度 1チームあたり総額1000万～3000万円	募集期間: 2022/8/1～9/22 ※応募時の「機関承認」は研究開発センターでのみ行います ※ 任期付教員は、本学の規定に準じ、専任教員の雇用期間内に、研究期間が収まるよう応募してください	#https://www.af-info.or.jp/research/apply.html#	
2022/9/26	(公財)ヒロセ財団	第9回(2022年度)研究助成	自然科学、社会科学、人文科学等各分野	アジア諸国から我が国の大学または大学院に留学、又は研究者として来日し、申請時において日本に居住し、日本の大学・研究機関等に勤務する常勤又は非常勤の専任研究者(博士、研究員、助教、または講師)※注: 准教授以上は対象外 ※助成期間内に外国に転出(転勤)する予定がある場合は対象外 詳細募集元サイト参照	500万円上限/件 予定件数: 25件程度	必需 ※注: 本学では非常勤の研究者の研究費管理は行っていません	#https://hirose-isf.or.jp/grant/#	
2022/9/30	(一財)日本内部監査研究所	第2回懸賞論文	(テーマ)経営を取り巻く現下の情勢と内部監査の役割	(1)45歳未満の専任研究者、実業家、及び大学生・大学院生(大学院進学予定者を含む) 大学院生に限り、数人のグループによる団体名での応募も可	最優秀賞: 30万円(1名) 優秀賞: 10万円(1名) 佳作: 5万円(若干名)	消印有効	#https://jjarf.org/wp/research-grant/#	
2022/9/30	(公財)沖繩協会	第44回(令和4年度)沖繩研究奨励賞	沖縄を対象とした将来に資する優れた研究(自然科学、人文科学、社会科学)を行う50歳以下の専任研究者。	自然科学・研究機関若しくは実績のある研究者から推薦書を受けた50歳以下(令和4年7月15日現在)の方で、出身地及び国籍は不問	奨励賞として本賞並びに副賞50万円	応募期間: 2022/7/15～2022/9/30 消印有効	#http://www.okinawakyokai.jp/publics/index/49/#	
2022/9/30	(一財)向科学技術振興財団	令和4年度研究助成	物の分離技術の分野における素材、技法の基礎研究	・研究者であれば、個人またはグループを問わず、原則として50歳まで。(※学生不可) ・国内に居住する研究者であれば、国籍・所属機関・団体名は個人は問わない。 (1)45歳未満の者(2023年4月1日現在) (2)日本在住の研究者(国籍不問)及び海外在住の日本人研究者(日本国籍を有するもの) (3)人文科学部門は2020年8月～2022年9月に刊行された著書(単著)があること	1件150万円以下、8件程度。	原稿として50歳まで(申請時)	#https://www.muikai-zaidan.or.jp/researchgrant/#	
2022/9/30	(公財)三島海雲記念財団	第12回(2023年度)三島海雲学術賞 ①自然科学部門 食の科学に関する研究 ②人文科学部門 アジア地域の歴史を中心とする人文科学に関する研究(日SDGsが掲げる課題解決に役立つ、地球環境に配慮した持続可能な世界実現に向けて期待される素材技術分野における研究) 【最先端領域】 ①「省/創/蓄エネルギー」のための先端素材(機能性フィルム、粘着剤、接着剤)に関する研究 ②プラスチックフィルム資源の循環(再利用)又は、クリーン廃棄を可能にする研究 ③接着剤、粘着剤の解離及びクリーン廃棄を可能にする研究 ④「省/創/蓄エネルギー」のための先端素材(機能性フィルム、粘着剤、接着剤)に関する研究 ⑤プラスチックフィルム資源の循環(再利用)又は、クリーン廃棄を可能にする研究	食の科学に関する研究 ②人文科学部門 アジア地域の歴史を中心とする人文科学に関する研究(日SDGsが掲げる課題解決に役立つ、地球環境に配慮した持続可能な世界実現に向けて期待される素材技術分野における研究) 【最先端領域】 ①「省/創/蓄エネルギー」のための先端素材(機能性フィルム、粘着剤、接着剤)に関する研究 ②プラスチックフィルム資源の循環(再利用)又は、クリーン廃棄を可能にする研究 ③接着剤、粘着剤の解離及びクリーン廃棄を可能にする研究	日本の大学、その他の公的研究機関に在籍し、主体的に研究を行っている研究者(教授、准教授、講師、助教、研究者等) (大学院生、ポスドクターは対象外)	①自然科学部門: 2件以内 ②人文科学部門: 1件以内	①②とも賞状並びに副賞300万円/件 ①自然科学部門: 2件以内 ②人文科学部門: 1件以内	応募期間: 2022/8/1～9/30(消印有効) ※推薦者数の上限あり、学内締切: 2022/9/15迄。応募者少数の場合は締切日以降も相談。	#https://www.mishima-kaiun.or.jp/virtue/#
2022/9/30	(一財)パナック財団	2023年度助成	SDGsが掲げる課題解決に役立つ、地球環境に配慮した持続可能な世界実現に向けて期待される素材技術分野における研究 【最先端領域】 ①「省/創/蓄エネルギー」のための先端素材(機能性フィルム、粘着剤、接着剤)に関する研究 ②プラスチックフィルム資源の循環(再利用)又は、クリーン廃棄を可能にする研究 ③接着剤、粘着剤の解離及びクリーン廃棄を可能にする研究	日本の大学、その他の公的研究機関に在籍し、主体的に研究を行っている研究者(教授、准教授、講師、助教、研究者等) (大学院生、ポスドクターは対象外)	100万円/件 助成件数: 3件程度	募集期間: 2022/8/1～9/30消印有効	#https://www.panac-for.jp/requirements/#	
2022/9/30	(一社)信託協会	令和4年度信託研究奨励金	信託に関する自由研究と課題研究。 ※課題研究テーマ(14テーマ)はHP参照	信託に関する法学的または経済学的研究を行う個人または共同研究グループ	総額1,000万円以内	学生可(学部生の場合は指導教授の共同研究グループとしての参加のみ)。ただし、学生が代表研究者となる場合、大学での資金管理不可。 申請締切: 年2回、3月31日と9月30日 英国ポンド建て申請のこと	#http://www.shintaku-kyokai.or.jp/profile/profile01_02_chousakensyu.html#203#	
2022/9/30	大和日英基金	(1)奨励助成 (2)重点助成	(1)奨励助成 日英間の教養的交流、書の文化交流、学術研究調査、また会議や展覧会をはじめ奨励助成の目的に沿ったプロジェクトやイベントの開催など (2)重点助成 学術、芸術、文化、教育の幅広い分野を対象とし、長期的な視野に立つ日英の提携プロジェクト	(1)奨励助成 日英間の相互交流の促進、支援につながるプロジェクトを実施する個人、団体、グループ (2)重点助成 日英の研究機関・団体間の共同プロジェクト	(1)奨励助成 2,000ポンドから9,000ポンド (2)重点助成 9,000ポンドから18,000ポンド	#https://daij.org.uk/ja/grants-awards-and-prizes#		
2022/9/30	(公財)江野科学振興財団	第34回(2022年度)研究助成 ①一般研究助成 ②田中康之ゴム科学賞	ゴムを主体とする高分子化学及びこれに関連する分野の基礎研究、応用研究及び開発研究並びに化学、物理、機械、電気などの学術的研究。	大学又は研究機関に所属する研究グループ及び個人研究者。年齢不問。 ※②田中康之ゴム科学賞は、大学院博士課程に在籍者を含む36歳未満の方(2022年4月1日現在)であること。	助成金総額900万円以内 ①一般研究助成 100万円×6件以内 ※最も優れた研究1件に対し100万円追加助成 ②田中康之ゴム科学賞 200万円×1件	応募期間: 2022/7/1～9/30消印有効 ※②は院生(博士後期課程)応募可。ただし本学での収支管理は不可。	#https://kokoku-intech.com/social/bosyu.html#	
2022/9/30	(一財)ホーユー科学財団	2023年度研究助成	(1)化粧品・医薬部外品関連 ・毛髪および頭皮に関する研究 ・着色色素に関する研究 ・毛髪又は皮膚に特異的に吸着する技術の研究 ・毛髪における化学変化や物性変化を可視化する手法および画像解析 (2)医薬品関連 ・「疫学」疫患の予防・診断・治療に関する研究 ・「アレルギー」疾患(アレルギー性接触皮膚炎)の予防・診断・治療に関する研究 ・「アレルギー」疾患全般に関わる体内環境改善につながる研究	国内の国公立大学(含む附属研究機関)または国公立研究機関に所属する研究者。 個人研究を原則とするが、共同研究者がいてもよい。	1件50万円または100万円(申請時に希望金額を選択)	応募期間: 2022/7/1～9/30必着	#https://www.hoyou.co.jp/zaidan/subsidy/#	
2022/9/30	(公財)編内細菌学会	編内細菌学会研究奨励賞	編内細菌と宿主に関わり合いに関する広い分野において、学術上または産業上将来の発展を期待し得る優秀な研究成果をあげた個人に対し授与	(1)受賞年の4月1日において原則として40歳以下。 (2)奨励賞の授与対象業績は、学術誌等に発表されたものとする。なお、過去に当該研究奨励賞の授与対象となった学術論文および特許公報は対象外。	原則として2件程度 ①一般研究助成 賞状と副賞(10万円)	要推薦書	#https://bifidus-fund.jp/shourai/index.shtml#	
2022/9/30	(公財)安藤スポーツ・食文化振興財団	2022年度食創会「第27回安藤百福賞」	食の科学に関する研究 食料の振興に貢献する基礎研究、新しい食品の創出、開発、新規の食品加工技術・分析技術、食に関わるベンチャー企業者	食に関わる分野における研究者、開発者、およびベンチャー企業者(原則として個人) ※詳細は募集元サイト参照	・大賞(副賞1000万円)/原則1件以内 ・優秀賞(副賞200万円)/原則3件以内 ・発明発見奨励賞(副賞100万円)/原則3件以内 ※発明発見奨励賞は専任研究者等に限定 (1)200万円/件×合計26件程度 (2)100万円/件×5件程度	#https://www.ando-zaidan.jp/innovation/foodcreationsociety/#		
2022/9/30	(公財)加藤記念バイオサイエンス振興財団	第34回(2022年度)研究助成	バイオサイエンスの基礎分野 (1)メタボリックサイエンス分野 (2)バイオテクノロジー分野 (3)環境バイオ分野(奨励研究)	・国内の大学又は公的研究機関に所属している研究者。 ・(1)(2)は40歳以下(博士号取得後10年以内の41歳以上も可)、(3)は35歳以下(博士号取得後5年以内であれば36歳以上の応募も可) ただし、専任教員・准教授等取得者は年齢制限延長なし。 博士号取得後5年以内の研究者、博士号取得を目指す大学院生、大学生 2. 月額支援型クラウドファンディングに10ヶ月以上チャレンジできること ※詳細は募集元サイト参照	1件500万円/件×5件程度	学内締切: 2022/9/19 まで ※推薦者数に上限があるため学内締切を設けます。 上限に達しないときは学内締切後も受付可。	#https://www.katoken.or.jp/applications/3.1ken_zyo.html#	
2022/9/30	アカデミスト株式会社	academist Prize第2期(月額型クラウドファンディングへのチャレンジ権)	分野不問 対象: 若手研究者(博士号取得後3年以内)	1. 博士号取得後5年以内の研究者、博士号取得を目指す大学院生、大学生 2. 月額支援型クラウドファンディングに10ヶ月以上チャレンジできること ※詳細は募集元サイト参照	募集人数: 10名。うち、複数名にアカデミスト賞(賞金総額100万円)および企業賞(各10万円)	※学生可	#https://prizeacademist-of.com/prize2nd#	
2022/9/30	(公財)放送文化基金	2022年度助成 ①技術開発部門 ②人文社会・文化部門	2022年度に実施される放送に係る①技術開発・放送技術に関する研究、②人文社会・文化・放送に関する人文・社会科学の調査・研究、および文化的な事業 (詳細は募集元サイト参照)	放送に「関連する調査、研究または事業を行う団体もしくは個人。	上限500万円/件 総額6,000万円(予定)	申請期間: 2022/9/1～2022/9/30 ※Web申請	#https://www.hbf.or.jp/grants/article/guideline_grants#	
2022/9/30	(公財)スズキ財団	2022年度 科学技術研究助成 ①一般向け ②若手向け	国民生活用機械等の生産・利用・消費に係る科学技術に関する研究(※独創的・先進的、又は基礎的・先導的な研究開発課題)	日本国内の大学、大学院、高等専門学校または公共研究機関に勤務する研究者。 ①科学技術研究助成(一般) ※年齢制限なし ②科学技術研究助成(若手) ※35歳以下(2022年4月1日時点)の若手研究者 ※要件を満たす国内の研究機関に所属 (1)助成開始時(2023年4月または2023年10月)に国内の大学院または同等機関の博士後期課程に在籍しC&C技術分野の研究に携わっている研究者であること(国籍不問) (2)研究内容が優れていること (3)経済的に必要性が高いこと	①最大300万円 総額100万円 ②合わせて55件採択予定	#http://www.suzukifound.jp/02program/program03.html#		
2022/9/30	(公財)NEC C&C財団	2023年度研究員助成	C&C分野の研究を行っている博士後期課程の研究員を経営的に支援。 ※C&C分野とは、情報処理技術、通信技術、電子デバイス技術およびこれらの技術が融合するICT技術分野をいう。 ※関連技術とは、C&C分野の応用技術全般を含む。	日本国内の大学、大学院、高等専門学校または公共研究機関に勤務する研究者。 ①科学技術研究助成(一般) ※年齢制限なし ②科学技術研究助成(若手) ※35歳以下(2022年4月1日時点)の若手研究者 ※要件を満たす国内の研究機関に所属 (1)助成開始時(2023年4月または2023年10月)に国内の大学院または同等機関の博士後期課程に在籍しC&C技術分野の研究に携わっている研究者であること(国籍不問) (2)研究内容が優れていること (3)経済的に必要性が高いこと	15万円/月×最長1年間 助成人数: 5名程度	Eメール必着(郵送不可) 要指導教員の推薦書	#https://www.candc.or.jp/yosei/yosei_kenkyu.html#	
2022/9/30	(公財)市村清新技術財団	①第5回地球環境研究助成 地球温暖化対策に関する研究開発テーマ(※事例は募集元サイト参照) ②市村賞「市村地球環境学術賞」 地球温暖化対策に関する学術分野 (※詳細は募集元サイト参照)	①地球環境研究助成 地球温暖化対策に関する研究開発テーマ(※事例は募集元サイト参照) ②市村賞「市村地球環境学術賞」 地球温暖化対策に関する学術分野 (※詳細は募集元サイト参照)	①研究助成 研究代表者は大学、公的研究機関に所属する常勤の研究者 ②市村賞 ・申請者は日本の大学、研究機関に所属する研究者 ・連名の場合は3名以内 ・原則として所属機関長の推薦を得た者	①500万円/件×3件程度 ②市村賞: 500万円×1件、記念賞 賞状賞: 300万円×2件、記念賞 ※特に顕著な研究成果があれば特別賞: 2,000万円/件、記念賞	受付期間: 2022/9/10～9/30(郵送物は当日消印有効)	#https://www.sgkz.or.jp/#	
2022/10/6	(公財)牧誠財団(旧名称:メルコ学術振興財団)	2022年度第二次募集 ①研究助成A ②研究助成B ③挑戦的萌芽研究助成	日本企業で実践されている優れた管理会計業務の定式化又は理論化に関する研究ならびにそれらを含む周辺領域に関する研究。特に管理会計技法、管理会計システム、事業承継システム、およびそれに関連する管理システムを対象。	日本国内の大学、大学院、高等専門学校または公共研究機関に勤務する研究者。 ①科学技術研究助成(一般) ②科学技術研究助成(若手) ③挑戦的萌芽研究助成 研究者・博士後期課程大学院生 ・申請者(個人またはグループ代表者)は研究助成期間中、日本の大学・研究機関に所属していること。 その他詳細は募集元サイト参照	①研究助成A 1件30万円×200万円程度×15件程度 ②研究助成B 一人毎月60万円程度×3年間若手若手 ③挑戦的萌芽研究助成 1件30～200万円程度を若干名 ※助成総額250万円程度	必需 ※博士後期課程学生可。ただし、本学での収支管理は不可	#http://melco-foundation.jp/apply/research/6162/#	
2022/10/6	(公財)牧誠財団(旧名称:メルコ学術振興財団)	2022年度第二次募集 出版助成	管理会計学及び関連領域の研究成果の出版(翻訳書も含む) 2023年1月1日～9月30日の間に研究成果を本財団研究員として財団指定の出版社から出版できるものに限る 原則として、採択された研究成果は、本財団の研究書として出版から公開	日本国内の大学、大学院、高等専門学校または公共研究機関に勤務する研究者。 ①科学技術研究助成(一般) ②科学技術研究助成(若手) ③挑戦的萌芽研究助成 研究者・博士後期課程大学院生 ・申請者(個人またはグループ代表者)は研究助成期間中、日本の大学・研究機関に所属していること。 その他詳細は募集元サイト参照	上限150万円/件×若干名 助成総額450万円以内	必需	#http://melco-foundation.jp/apply/publication/#	
2022/10/6	(公財)牧誠財団(旧名称:メルコ学術振興財団)	2022年度第二次募集 国際研究交流助成	管理会計学の研究を促進するための次に該当する国際研究交流 (1)大学院生学生派遣 (2)学術報告派遣 (3)短期派遣 (4)中期派遣 (5)招聘 (※詳細は募集元サイトを参照)	2022年12月15日～2023年11月末日の間に出版、又は招聘を予定している。 ※その他の条件は、募集元サイトを参照。	(1)720万円程度×5件程度 (2)40万円程度×4件程度 (3)30万円以下×若干名 (4)10万円/月×若干名 (5)50万円以下×若干名 総額600万円程度を助成	必需 ※院生可(お招請は不可)。ただし本学での収支管理不可。	#http://melco-foundation.jp/apply/international/#	
2022/10/11	(一財)民間都市開発推進機構	令和4年度都市再生研究助成	都市の再生、まちづくりに関する研究。 ※対象の都市計画、建築等の分野に限定せず、広範囲の専攻分野を対象。	国内の大学、大学院又は付属機関、高等専門学校その他のまちづくり等について調査研究を行っている組織・団体。 研究の助成対象は上記の組織・団体に所属する概ね50歳以下の研究者。 ・特別枠: 若手研究員は要件を満たす国内の研究機関に所属する「博士の学位取得後8年未満」もしくは「令和4年4月1日現在で73歳以下(昭和57年)4月2日以降に生まれたる者」	研究助成は2ヶ年。 1年度あたり上限100万円/件、2年度で上限200万円/件。	12時(郵送の場合は当日消印有効)	#https://www.minto.or.jp/products/assist2.html#	
2022/10/11	(一社)いのちを支える自殺対策推進センター	令和4年度革新的自殺研究推進プログラム	自殺対策、自殺予防に関する研究。 1. とも「若手」に対する自殺対策 2. 自殺リスクの群を特定するアプローチ 3. 自殺報道・インターネット情報の影響と対策のあり方 4. 自殺対策のDX化の可能性 5. ホストコロナに向けた自殺対策等 特性: 若手研究員(自殺対策に関する自由テーマ)	国内の大学、大学院又は付属機関、高等専門学校その他のまちづくり等について調査研究を行っている組織・団体。 研究の助成対象は上記の組織・団体に所属する概ね50歳以下の研究者。 ・特別枠: 若手研究員は要件を満たす国内の研究機関に所属する「博士の学位取得後8年未満」もしくは「令和4年4月1日現在で73歳以下(昭和57年)4月2日以降に生まれたる者」	1課題あたり200万円～800万円(直接経費) ※間接経費は直接経費に対して一定比率(30%)で配分	17:30まで	#https://jscp.or.jp/research/#	
2022/10/14	(公財)ダイオーズ記念財団	2022年度調査研究等助成金	内外に對して全ての人が安全に生き活きと働くことのできる社会環境に関する調査・研究を行う大学・研究所等に對する研究活動	個人の場合: 東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、茨城県、群馬県に居住し、今後も居住する見込みであること 又は、研究・活動の場が上記7都県であること	個人・団体1件100万円以内を1～2件程度	応募期間: 2022/7/25～10/14(消印有効)	#http://www.daiho-zaidan.or.jp/#	
2022/10/15	(公財)科学技術融合振興財団	2022年度助成金・補助金	①調査研究助成 (研究課題A) シミュレーション&ゲーミングに関する調査研究 (研究課題B) (1)情報技術、ネットワーク技術を用いたシミュレーション&ゲーミングによる学習用ソフトウェアの試作 (2)社会に役立つシミュレーションの調査研究 (3)エデュテインメントゲームに関する調査研究 ②補助金 研究課題C シミュレーション&ゲーミングの先進的独創的な手法の研	1. 研究助成 (1)大学、その他の教育機関、研究所等の非常利の研究機関に所属する研究者 (2)個人研究、国内の共同研究、国際的共同研究のいずれでも可。 2. 補助金 (1)大学、その他の教育機関、研究所等の非常利の研究機関に所属する研究者 (2)若手研究者(大学院生・助手等)	1. 調査研究助成事業 30～150万円/件 採択件数15～20件 総額1,500万円 2. 補助事業 15～30万円/件 採択件数10～20件 総額300万円 ※別途、採択者の成果報告書を選考し、表彰する。	郵送及び宅配便は当日消印有効 (メールの場合は2022/10/15(土)24:00までに着信) 2. 補助金は院生の応募可。ただし本学での管理不可。	#http://www.fost.or.jp/subsidies.html#	

法人種別	団体名	事業名	対象分野	募集対象	助成内容	備考	HP
2022/11/30	(公財)パブリックヘルスリサーチセンター	2023年度パブリックヘルス科学研究助成	2023年度募集研究テーマ ①ストレス科学分野 「ウイズ/ポストコロナのストレスマネジメント」 ②生命医学分野 「環境と健康」	以下をすべて満たす者 ・ストレス科学分野、または生命医学分野の研究者 ・国内の非営利の研究機関に在籍している研究者、または博士後期課程(それに準ずる課程も含む)の学生 ・毎月1日(9時)から2日(12時)までの者 ・所属する部署の長等の推薦を受けている者 ・2020年度本助成金の助成対象者でない者	①1件あたり50万円を上限とし、最大6件 ②1件あたり100万円を上限とし、最大3件	必須 博士後期課程の学生可。ただし本学による収支管理は不可。	#https://phr.jp/abouts/gaiyou_yousei_oub.php#
2022/11/30	(公財)藤原科学財団	藤原セミナー～2023～2024年開催	自然科学の全分野対象 開催期間:2023年8月1日～2024年12月31日(セミナーの夏休期間は、募集対象外)	わが国の大学等研究機関に所属する常勤の研究者	12,000万円以内/件、2件以内。		https://www.fujizai.or.jp/j-s-jigo.html#https://www.fujizai.or.jp/j-s-jigo.html
2022/11/30	(公財)日本農業研究所	令和5年度人文・社会科学系若手研究助成	農業や食料、農村をめぐる問題を解明しようとする研究(人文・社会科学分野)。実証調査重視。	・令和5年4月1日現在22歳以上35歳未満 ・研究機関への在籍の有無不問	35万円以内	院生可。ただし本学による収支管理は不可。	https://www.nohken.or.jp/wakate/wakatejo-sei-top.html#
2022/11/30	(公財)電気通信普及財団	2022年度11月期シンポジウム・セミナー等開催助成	情報通信に関するシンポジウムの開催援助(オンラインも対象)※学術分野、社会貢献分野	原則、2023年4月から2024年3月までに開催するもの。オンライン開催も対象。	100万円以下/件×各分野5件程度		https://www.tafor.jp/grant-c/01/#
2022/11/30	(公財)小田急財団	2022年度研究助成	①公共交通および交通ネットワークに関する研究 ②持続可能な都市や地域の基盤整備およびコミュニティの活性化に関する研究 ③地域の個性や魅力を引き出す観光の活性化・推進に関する研究	日本国内の大学・研究機関等に在籍する大学院博士課程在籍から准教授までの資格を有する研究者で、2023年3月末日現在40歳以下	100万円/件×3件程度	必須 博士後期課程学生可。ただし、本学による支出管理は不可。	#https://www.odakyu-zaidan.or.jp/grant/gr_invite.html#
2022/11/30	(公財)ヒロセ財団	第3回ヒロセ賞	情報・通信・電気・電子工学分野において顕著な業績をあげた日本国籍を有する研究者	推薦基準 (1)新しい学術を切り拓く優れたもの(研究の独創性) (2)他分野の研究に影響を与えるか(研究の波及効果)	1賞につき、賞状、賞牌、及び副賞3,000万円を贈呈(1件)	総長名での推薦を希望する場合に限り学内締切を設けます(研究開発センター宛 2022年11月4日まで)	#https://hirose-isf.or.jp/prize/hiroseprize/#
2022/11/30	(公財)SBS鎌田財団	2022年度物流研究助成	物流の振興・発展に資する①学術研究、②研究会、シンポジウム、セミナー等の開催	大・大学院・その他研究機関に在籍し、物流分野に係る研究活動に従事する個人または団体(対象)	限度額50万円/件、総額300万円		#https://www.sbs-kamatazaidan.or.jp/skrd/furtherance/#
2022/11/30	(一財)田中貴金属記念財団	2022年度貴金属に関する研究助成金	貴金属に関する研究(貴金属とは、白金、金、銀、パラジウム、ロジウム、イリジウム、ルテニウム、オスミウムの8元素を指す)	日本の大学・その他研究機関に在籍し、主として研究を進めている原則 常勤の研究者 ・国内居住者 ・国籍不問 ①年齢:35歳以下 ②③:年齢不問 (※詳細は募集元HPを参照)	①ラツチ賞:500万円×1件 ②ゴールド賞:200万円×1件 ③シルバー賞:100万円×4件 ④ブロンズ賞:50万円×4件 ※応募資格は2022年4月1日現在、37歳以下を対象。	17時まで	#https://tanaka-foundation.or.jp/grant/index.html#https://tanaka-foundation.or.jp/grant/index.html#
2022/11/30	(公財)フジール財団	2023年度パッケージ研究助成 ①若手研究助成 ②研究助成 ③特別長期研究助成	パッケージに関わる研究	・主たる勤務先が国内の大学とその附属研究所、大学共同利用機関、公的研究機関であること ・上記の機関に所属し、主体的に研究を進めている原則 常勤の研究者 ・国内居住者 ・国籍不問 ①年齢:35歳以下 ②③:年齢不問 (※詳細は募集元HPを参照)	①100万円 採択数:8件程度 ②300万円または200万円の助成希望金額を申請 採択数:8件程度 ③1200万円(期間合計) 4通りのうちから3年間の助成希望金額を申請 ※詳細は募集元サイト参照採択数:2件		#https://www.fujisai.or.jp/support/index.html#
2022/12/1	(公財)たばこ総合研究センター	2023年度研究助成	たばこを始めとする嗜好品に関する人文・社会科学の分野。	日本国内の大学、研究機関、博物館等に所属する研究者(非常勤での在職者、大学院生も可)	1件につき原則として50万円、75万円、100万円または150万円 年間助成総額の上限は原則として650万円。	消印有効 院生可。ただし、本学による支出管理は不可。	#http://www.tasco.or.jp/assist/index.html#
2022/12/10	(公財)八洲環境技術振興財団	2022年度国際会議・研究発表会等の参加、及びシンポジウム等の開催助成【第Ⅱ期】	環境負荷低減、環境保全等の環境に関する技術の普及と啓蒙を目的とした、国際会議・研究発表会等の参加、およびシンポジウム等の開催を支援	日本の国・公・私立大学(大学附置または附属研究所を含む)、及び高等専門学校に在籍する個人	最大20万円/件×7件程度(Ⅰ・Ⅱ期通じて)	応募期間: 【第Ⅰ期】2022/4/10～2022/6/10 【第Ⅱ期】2022/10/10～12/10 (当日消印有効)	#https://www.yashimadenki.co.jp/zaidan/#
2022/12/12	(一財)天野エンザイム科学技術振興財団	第24回酵素応用シンポジウム・研究奨励賞	生化学分野、食品分野	・産業界に影響を与える酵素の基礎、または応用研究を行っている若手研究者 ・学生及び民間企業の研究者は対象外 ・日本の大学・その他研究機関に在籍し、主として研究活動に従事している研究者 (大学院生、専攻科生等は対象外)共同研究者も同様	本賞・賞状 副賞:50万円(授賞件数は7件を予定)	締切時の消印・メール送信有効 募集期間:2022/11/1～12/12	#https://www.amano-enzyme.co.jp/corporate/foundation/sympo_sium.html#
2022/12/12	(公財)松井角平記念財団	2022年度(第7回)助成金	①日本国内にある寺院、神社等の建造物に関する学術研究 ②日本国内にある歴史的文化的財の建造物の保存、修復 准対象:自然科学分野に属するもの ※以下の分野(数学・物理・化学、工学・生物・農学・医学)では不可	日本の国籍があり、且つ日本在住の方。 ※所属組織の長又は相当する学識者の推薦要。	賞状、賞牌、副賞1,000万円×2件	機関長の推薦書必須	#https://www.fujizai.or.jp/download.html#
2022/12/15	(公財)藤原科学財団	第6回藤原賞	生化学分野、食品分野	大学・大学院の教員、または大学院博士課程に在籍する方で、2022年12月末時点で満40歳未満	30～50万円	院生可。ただし本学による収支管理は不可。	#https://www.tr.mfug.jp/shisan/kouekishintaku_list.html#
2022/12/16	山田学術研究奨励基金	2022年度「公益信託山田学術研究奨励基金」奨励金	法律学または経済学(若手研究者)	国内法人及びこれに準ずる任意団体が主催し、人材育成を目的とする事業も対象 ※その他条件は募集元HPを参照	最大100万円/件	必須	#https://www.secomzaidan.jp/josei.html#
2022/12/22	(公財)セコム科学技術振興財団	学術集金および科学技術振興事業助成	安全・安心に関する科学技術の振興を目的とする学術・シンポジウム・研究会などの学術集金や、将来研究者や技術者を育てる若手・子供たちの啓蒙・育成を目的とする集金の開催費を支援。その他にも事業支援あり。	研究者として継続して研究をおこなっているもの	賞状および副賞(研究費)200万円×1名	7月31日締切は終了	#https://www.secomzaidan.jp/josei.html#
2022/12/23	時実利産記念研究助成基金	公益信託 時実利産記念研究助成基金「時実利産記念賞」	脳神経系の機能およびこれに関連した体機種の解明に意義ある研究	①東京都内の大学もしくは研究機関に在籍、または東京都内に在住し大学もしくは研究機関に在籍し、基礎的・応用的な学術研究に従事する個人(学生は対象外)。 ②原則として満40歳未満(助成金交付の開始時)	年間120万円/件を標準×5～10件(最大4年度程度) 総額 3,000万円	消印有効 推薦件数は1推薦者(学部長、研究所長、担当主教授)につき1件となっています。被推薦者は推薦者に事前に相談し、所属内でご調整ください。	#https://moritani-scholarship.or.jp/#
2022/12/23	時実利産記念研究助成基金	公益信託 時実利産記念研究助成基金「時実利産記念賞」	脳神経系の機能およびこれに関連した体機種の解明に意義ある研究	研究者として継続して研究をおこなっているもの	賞状および副賞(研究費)200万円×1名	7月31日締切は終了	#https://www.tokizane.net/guidelines.html#
2022/12/23	(一財)山谷育英会	2022年度(一財)山谷育英会研究助成	次の種分野における基礎研究。自然科学(特に動植物に関連)、工学、社会、環境、福祉等の関連、人文科学。	①東京都内の大学もしくは研究機関に在籍、または東京都内に在住し大学もしくは研究機関に在籍し、基礎的・応用的な学術研究に従事する個人(学生は対象外)。 ②原則として満40歳未満(助成金交付の開始時)	年間120万円/件を標準×5～10件(最大4年度程度) 総額 3,000万円	消印有効 推薦件数は1推薦者(学部長、研究所長、担当主教授)につき1件となっています。被推薦者は推薦者に事前に相談し、所属内でご調整ください。	#https://www.tokizane.net/guidelines.html#
2022/12/23	粉体工学情報センター	2023年度(第19回)粉体工学情報センター研究助成	粉体工学(基礎研究を奨励)。 2023年度の対象研究主題は、 (1)食品材料に関する研究 (2)粉体単位操作に関する基礎研究	日本の大学・研究機関等に常勤で在籍し、粉体工学関係の研究活動に従事する研究者	助成総額 1件 100万円/年 助成件数 10件以内	必須	#http://www.icpt.jp/kenkyuu/index.html#
2022/12/23	(一財)ズームグループ学術振興財団	2023年度助成金	音楽、楽器に関わる日本のものづくりに貢献する科学技術分野における研究	専攻、大学、公的研究機関に所属する常勤の研究者(大学院生やポスドクター含む)	上限100万円/件 助成件数:5件程度	募集期間:2022/11/1～12/23	#https://www.zoom.jp/zaidan/application/#
2022/12/26	日本奥山学会	2023年度 日本奥山学会 奥山研究助成金	奥山の保全・再生に有益な研究・活動等(奥山生態系、林業、水産、鳥獣対策、奥山利用の歴史、法整備、文化、災害等)	奥山に関する研究を実施している個人または団体(主に若手・学生を対象) ・奥山・奥山と関係した奥深い山、奥山 国内の大学及び短期大学、専修学校、国・地方公共団体の設置する研究所、独立行政法人の研究機関等での学術研究を行っている研究者等(大学院生を含む)。 ①②③④ともに、海外渡航調査など多額な費用が含まれる場合は100万円以内。	1件あたり10万円	募集期間:2022/11/1～12/26(消印有効) 院生可。ただし、本学による収支管理は不可。	#http://okuyama-society.org/#
2022/12/31	乳の学術連合、(一財)Jミルク	2023年度「乳の学術連合」学術研究	①牛乳製品健康科学 ②乳の社会文化 ③食と教育 ※各募集テーマについては公募サイトを参照	国内の大学及び短期大学、専修学校、国・地方公共団体の設置する研究所、独立行政法人の研究機関等での学術研究を行っている研究者等(大学院生を含む)。 ①②③④ともに、海外渡航調査など多額な費用が含まれる場合は100万円以内。	①年間150万円以内を10件程度 ②年間70万円以内を8件程度 ③年間70万円以内を8件程度 ※②③④ともに、海外渡航調査など多額な費用が含まれる場合は100万円以内。	募集期間:2022年12月14日～2023年1月11日午後5時(厳守)	#https://m-alliance-j-milk.jp/#
2022/12/31	(公財)藤原科学技術振興財団	2023年度研究助成	環境問題の解決に向けた機能を有する物質、材料、機構、設計、生産、社会システムに関わる革新的な研究(自然科学・工学と社会科学の両分野)	日本の大学・研究機関等に常勤で在籍し、主体的に研究を進めている常勤の研究者、大学院後期課程に在籍者およびポスドク	1件100万円 総額2000万円以上を予定	消印有効 ※要所属機関長の推薦	#http://www.fujimori-f.or.jp/subsidy/requirements.html#
2023/1/10	(公財)吉田秀雄記念事業財団	2023年度(第57次)研究助成	広告・広報・メディアを中心とするマーケティング及びコミュニケーション等に関する研究	【常勤研究者の部】 大学に在職する助成以上の常勤研究者(個人またはグループ研究) 【大学院生の部】 博士後期課程に在籍する大学院生(個人またはグループ研究)	【常勤研究者の部】 単年研究:300万円以内/件 継続研究:400万円以内/件(10件程度) 【大学院生の部】 単年研究:50万円以内/件 継続研究:80万円以内/件(10件程度)	院生(博士後期課程)可。ただし本学での収支管理は不可。	#https://www.yhmf.jp/aid/#
2023/1/11	(公財)三菱財団	第5回(2023年度)文化財保存修復事業助成	①文化財保護法第二条第1項に規定される有形文化財のうち、建造物を除く文化財(絵画、彫刻、工芸品、書跡、典籍、古文書その他の有形の文化的財産)が国によって歴史上または芸術上価値の高いもの並びに考古資料及びその他の学術上価値の高い歴史資料、以下「美術工芸品」という。修復。 ②日本国内に所在する、屋内展示可能なものに限ります。 ③現状、修復に付する社会的意義の高いものを対象とする。 ④国定・重要文化財(国指定)の保存、修復は対象外とし、①②とも、人文科学分野、及びこれに関連する分野からなる、人文社会系研究全般 ⑤大型運搬研究助成については、異なる専門領域の複数のメンバーのチームによる提案案の研究	募集者サイトを参照	総額約2500万円を予定。応募金額の上限は1件当たり原則500万円とし、採択予定件数は12件程度を目標。	募集期間:2022年12月14日～2023年1月11日午後5時(厳守) ※応募・申込不可 間接経費・一般管理費は助成の対象としない。	#https://www.mitsubishi-zaidan.jp/support/cultural-property.html#
2023/1/11	(公財)三菱財団	第52回(2023年度)人文科学研究助成(①一般助成、②大型運搬研究助成)	①②とも、人文科学分野、及びこれに関連する分野からなる、人文社会系研究全般 ⑤大型運搬研究助成については、異なる専門領域の複数のメンバーのチームによる提案案の研究	原則として、特定のテーマの、個人ないし少数のグループまたは法人・団体による研究。国籍不問。 大型運搬研究助成の場合は複数の領域の研究者のメンバーのチームによる提案案の研究 ※詳細はリンク先参照。	助成額:①②合わせて総額約6000万円を予定 採択件数:①②計25～30件程度、うち②は1～2件程度。 応募金額の上限:①500万円/件、②は1000万円/件まで可。	募集期間:2022年12月14日～2023年1月11日午後5時(厳守)	#https://www.mitsubishi-zaidan.jp/support/humanities.html#
2023/1/19	(公財)三菱財団	第54回(2023年度)社会福祉事業並びに研究助成	「事業」活動(省略)・調査研究、開拓的ないし実験的な社会福祉に関する科学的調査研究(個人・法人・団体問わず可)	①日本国内において事業ないし研究の継続的拠点を有するもの(国籍等不問)。 ※詳細はリンク先参照。	総額8000万円(予定)。	募集期間:2022年12月22日～2023年1月19日午後5時(厳守)	#https://www.mitsubishi-zaidan.jp/support/social-welfare.html#
2023/1/26	(公財)牧誠財団(旧名称:メルコ学術振興財団)	2022年度第三次募集 ①研究助成A ②研究助成B ③挑戦的萌芽研究助成	日本企業で実践されている優れた管理会計業務の定式化又は理論化に関する研究並びにそれらを含む周辺領域に関する研究。特に管理会計技法、管理会計システム、事業承継システム、およびこれに関連する管理システム。	①研究助成A 研究者・博士後期課程大学院生 ②研究助成B 博士後期課程大学院生 ③挑戦的萌芽研究助成 研究者・博士後期課程大学院生	①研究助成A 1件30万円～200万円程度×20件程度 ②研究助成B 1人毎年60万円程度×3年間を若干名 ③挑戦的萌芽研究助成 1件30～200万円程度を若干名 ※助成総額2000万円程度	必須 博士後期課程学生可。ただし、本学での収支管理は不可。	#http://melco-foundation.jp/apply/research/6256/#
2023/1/26	(公財)牧誠財団(旧名称:メルコ学術振興財団)	2022年度第三次研究助成(国際研究交流助成)	管理会計学の研究を促進するための次に該当する国際研究交流 (A)大学院生学術派遣(1週間以内) (B)学術報告派遣(1週間以内) (C)短期派遣(3か月以内) (D)中長期派遣(4～24か月以内) ①招聘 (※詳細は募集サイトを参照)	次に該当し、2023年3月15日～2023年12月末日の間に出席、又は招聘を予定している者。 (1)日本の大学・研究機関に所属する研究者及び大学院生。ただし、大学院生は招聘への応募不可。 ※その他の条件は、募集サイトを参照。	(A)20万円程度×5件程度 (B)40万円程度×4件程度 (C)50万円程度×若干名 (D)10万円以下×若干名 (E)10万円以下×若干名 (F)助成金額は総額500万円程度で、渡航費(往復)及び滞在費の一部を奨励。	必須 院生可(招聘は不可)。ただし本学での収支管理は不可。	#http://melco-foundation.jp/apply/international/#
2023/1/31	株式会社リバネス	第59回リバネス研究賞森林科学賞	森林の未来に関わるあらゆる研究	・大学・研究機関に所属する40歳以下の研究者 ・海外に留学中の方でも申請可 ・研究機関に所属して研究を始めていれば、学部生からでも申請可	研究費50万円 採択件数:若干名	18:00まで 学生・ポスドク等も可。ただし、本学での経費管理は不可。	#https://r.lne.st/grant/59-forest/#
2023/1/31	(一社)日本音楽著作権協会	第2回JASRAC国際フェロシップ	著作権を含む知的財産権(音楽の著作権に限らず)の研究の在外研究	・日本国内に所在する大学等に所属し、著作権を含む知的財産権を研究していること。 ・応募時点で50歳以下であること。 ・日本国籍又は日本の永住権を有していること。 ※その他詳細は募集者サイト	在外研究に係る支度金・渡航費・滞在費・調査研究費等 ※詳細は募集者サイト	・応募者の年齢要件を50歳以下に引き上げ	#https://www.jasrac.or.jp/news/23/jasrac_global_fellowships_2.html#
2023/1/31	株式会社リバネス	第59回リバネス研究賞Delightex賞	①心地よさに関わるホルモンの特定メカニズム解明に関わる研究 ②ホルモンの測定および解析に関わる研究	・大学・研究機関に所属する40歳以下の研究者 ・海外に留学中の方でも申請可 ・研究機関に所属して研究を始めていれば、学部生からでも申請可	研究費50万円 採択件数:若干名	18:00まで 学生・ポスドク等も可。ただし、本学での経費管理は不可。	#https://r.lne.st/grant/59-delightex/#
2023/1/31	株式会社リバネス	第59回リバネス研究賞Daicel賞	新時代の美を作る化粧品原料開発に関連するあらゆる研究	・大学・研究機関に所属する40歳以下の研究者 ・海外に留学中の方でも申請可	研究費50万円 採択件数:若干名	18:00まで 学生・ポスドク等も可。ただし、本学での経費管理は不可。	#https://r.lne.st/grant/59-daicel/#
2023/1/31	株式会社リバネス	第59回リバネス研究賞incu-be賞	大学生・大学院生が自ら取り組むあらゆる研究	・大学生・大学院生 ・海外に留学中の方でも申請可	研究費上限50万円 採択件数:最大20名	18:00まで 学生・ポスドク等も可。ただし、本学での経費管理は不可。	#https://r.lne.st/grant/incube3/#
2023/1/31	(公財)永守財団	第9回永守賞	モータ、アクチュエータ、発電機及びそれらの制御方法、その応用技術等に関する技術分野	対象分野において、優れた功績をあげた新進・中堅の研究者、または開発者(学生も取得後、おおむね30年以内)	副賞:永守賞は200万円(6名程度)。永守賞副賞は500万円(重複可)	消印有効	#https://www.nidec.com/jp/nagamori-f/awards/applicationguidelines.html#
2023/2/1	(公財)電気通信普及財団	海外渡航旅費援助(通年募集)	情報通信の普及、発展発展に資するため、情報通信に関する研究(人文・社会科学分野及び技術分野)を行う研究者が、海外で開催される国際会議などで研究発表を行った際の渡航費用の一部を援助 ・なお当面の間、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、オンライン開催される国際会議で研究発表を行うための参加費 ・情報通信に関する研究を行う研究者が、海外で開催される国際会議などで研究発表を行うための渡航費用の一部を援助(※オンライン開催の国際会議で研究発表を行うための参加費も奨励)	日本の大学等及び研究機関に所属する研究者(博士の学位を取得またはこれに相当する過程を終了し、研究業績を有する。大学等の常勤の研究者で、原則40歳以下)	50件程度/年間 200万円～200万円/件 日本、25、ハワイ18、オーストラリア23、東南アジア19、中国17、韓国11等	学会の開催日程により、通年受付(2か月の1回審査) 詳細はHP参照。 機関長の推薦が必要	#https://www.tafor.jp/grant-b/#
2023/2/1	(公財)電気通信普及財団	海外渡航旅費援助(2022年度)	情報通信の普及、発展発展に資するため、情報通信に関する研究(人文・社会科学分野及び技術分野)を行う研究者が、海外で開催される国際会議などで研究発表を行った際の渡航費用の一部を援助 ・なお当面の間、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、オンライン開催される国際会議で研究発表を行うための参加費 ・情報通信に関する研究を行う研究者が、海外で開催される国際会議などで研究発表を行うための渡航費用の一部を援助(※オンライン開催の国際会議で研究発表を行うための参加費も奨励)	日本の大学等及び研究機関に所属する研究者(博士の学位を取得またはこれに相当する過程を終了し、研究業績を有する。大学等の常勤の研究者で、原則40歳以下)	50件程度/年間 200万円～200万円/件 日本、25、ハワイ18、オーストラリア23、東南アジア19、中国17、韓国11等	学会の開催日程により、通年受付(2か月の1回審査) 詳細はHP参照。 機関長の推薦が必要	#https://www.tafor.jp/grant-b/02/#
2023/2/3	(公財)三菱財団	第54回(2023年度)自然科学研究助成(①一般助成、②若手助成)	自然科学のすべての分野にかかわる独創的かつ先駆的な研究	①一般助成:原則、一つのテーマとして独立した個人研究(少数グループ含む)を対象。国籍・年齢不問。ただし日本国内居住者。 ②若手助成:①の応募資格に加え、2023年4月1日現在40歳未満の方。博士学位取得者は40歳未満かつ学位取得後10年以内の者に限る。 ※詳細は募集元HPを参照。	①一般助成:総額27000万円程度を目標。応募額は1件あたり200万円以内とし、採択件数は40件程度を目標。 ②若手助成:総額最大6000万円程度を目標。助成額1件当たり一律400万円。採択件数は最大15件を目標。	募集期間:2023年1月6日～2023年2月3日午後5時(厳守)	#https://www.mitsubishi-zaidan.jp/support/#
2023/2/6	(公社)新化学技術推進協会	第12回新化学技術研究奨励賞	環境技術、エネルギー、資源代替材料、バイオマス、エレクトロニクス材料・反応、脳科学、コンピュータサイエンス、先端化学新素材・反応からの2課題、および特別課題(2022年度は革新的な社会分野)	国内の大学、またはこれに準ずる研究機関において研究活動に従事する個人(研究場所は日本国内に限る) ・2022年4月1日時点で満40歳未満(学生不可)	100万円/件	募集期間:2022/12/9～2023/2/6 ※今年度の課題詳細については12月上旬より募集元サイトに更新掲載	#https://www.jacri.or.jp/recruit/page_02_12_2023.html#
2023/2/6	(公財)日本生産性本部	2022年度生産性研究助成(2次募集)	経営、労働、生産性などに関するもの	若手研究者(2022年4月1日において40歳未満)で、広く経営、労働、生産性などに関する領域を研究する個人またはグループ(所属、国籍不問)	①50万円または②100万円/件 どちらか一つを選択し、応募のこと。 助成件数3件(3グループ)以内(①と②を合わせて、1次募集分も含む)。	17時	#https://www.kw-academy.jp/researchgrant/#
2023/2/9	旭化成ファーマ(株)	旭化成ファーマオープンバージョン2023(共同研究公募)	創薬に関する研究(全領域)	日本国内の大学、研究機関に所属している研究者(学生含まず)	200万円～2000万円/件 (間接経費込み、税抜き)	応募期間:2023/1/5 14:00～ 2023/2/9 17:00	#https://www.asahikasei-pharma.co.jp/a-compass.jp/#
2023/2/17	仁和仏法所	令和5年度①若手研究助成、②仁和寺研究促進助成	真言密教の法流・教学・歴史・仁和寺に関する個人研究(仏教学、文学、歴史学、またはこれに関わる分野の調査研究方法を用いること)	・令和5年4月1日時点で博士の学位を取得していること。 ・国内籍、国籍不問 対象の調査研究期間:令和5年4月1日～令和7年3月31日 ※詳細は募集サイト	①1件あたり50万円以下 ②1件あたり100万円以下 ※詳細は募集サイト	必須 応募期間:2022/12/13～2023/2/17	#https://www.denposho.com/#
2023/2/17	日本神経科学学会	公益信託 時実利産記念研究助成基金「時実利産記念神経科学優秀博士研究賞」	神経科学・脳科学分野(若手研究)	(1)申込締切日において、博士課程在学中あるいは博士取得後2年以内 (2)選考対象となる研究は、神経科学・脳科学研究に関する大学院博士課程の研究テーマであること	賞状および副賞(研究費)10万円	必須 博士課程学生の申請可。ただし本学での経費管理は不可。	#https://www.jnss.or.jp/tokizane_research-awards#
2023/2/21	(一財)知的財産教育財団 知的財産研究所	令和5年度産業財産権制度の派遣研究者募集	産業財産権制度に関し、主に日本を含む複数国間において制度調和が中期的に必要な課題に関するもの。	①日本国籍を有する者 ②日本の産業財産権制度に深い理解を有する研究者であること ③調査・共同研究に必要な言語に堪能な者 ④派遣期間終了後も、産業財産権分野で研究者ネットワークを構築し得る者	派遣予定人数:1～2名	必須	#https://www.kw-academy.jp/researchgrant/#

法人種別	団体名	事業名	対象分野	募集対象	助成内容	備考	HP
2023/2/28	(公財)NEC C&C財団	2023年度前期 国際会議論文発表者助成	海外で開催される国際会議においてC&C技術分野に関する論文発表を行う大学院の学生に対して、会議に出席するための渡航費用等を補助する。 ※国際会議がオンライン形式で開催される場合には、会議参加登録費用の日本円負担額を万円単位で切り上げた額を助成する。	(1)国際会議参加時に日本の大学大学院、またはこれに準ずる教育機関に在籍している大学院生(原則40歳以下) (2)国際会議(査読、海外開催)での採用が原則として確定していること、採用未確定の段階でも応募可だが、諸条件あり。 (3)投稿論文の場合は、筆頭著者かつ発表者であること (4)参加する国際会議は原則学会等の学術団体が主催・協賛、後援するもの	(1)国際会議の開催地別に定めた助成金を支給。 ※その他はHPを参照。	Email必着 (郵送不可)	#http://www.candc.or.jp/yosei/yosei_koku_sai.html#
2023/2/28	(公財)三島海軍記念財団	2023年度学術研究奨励金 (A)個人研究奨励金 (B)共同研究奨励金	A・Bとも以下2部門 (1)自然科学部門:食の科学 (2)人文科学部門:アジア地域の史学・哲学・文学を中心とする人文社会科学分野	(A)個人研究奨励金 日本在住の研究者(国籍不問)、及び海外在住の日本人研究者、大学院博士課程(後期)在学者。 (B)共同研究奨励金 ①複数の研究機関または異なる部局の研究者による共同研究(代表研究者は国内の大学、研究機関に所属すること) ※その他条件等は募集サイト参照	(A)個人研究奨励金 一件当たり100万円×両部門計80件程度 (B)共同研究奨励金 一件当たり200万円～500万円×両部門計6～7件程度	応募期間:2023/1/10～2/28(必着) (A)は院生(博士後期課程)申請可。ただし、本学での経費管理は不可。	#https://www.mishima-kaiun.or.jp/assist/#
2023/3/1	(公財)日本生命財団	児童・少年の健全育成 2023年度実践的研究助成	以下の重点募集分野 【第1分野】 健全育成のための教育、周到な準備を図る分野(教育、予防的対応等を図る分野) 【第2分野】 健全育成にとって喫緊の対応を要する分野(療養的対応等を要する分野) (※詳細は募集サイトを参照)	以下分野ともに 【2年助成】 研究者または実践家 【1年助成】 研究者または実践家(大学院博士課程、非常勤も対象) ・複数の研究組織で研究者と実践家の双方が参加すること。 ・代表研究者は国籍・所属は不問だが、国内居住であること (※詳細は募集サイトを参照)	【2年助成】3～4件予定 2023年8月から2年間 1件最大400万円(年最大200万円) 【1年助成】5～7件予定 2023年8月から1年間 1件最大100万円	消印有効 博士後期課程学生も申請可。ただし、本学での経費管理は不可。	#http://www.nihonseimei-zaidan.or.jp/jidou2/02.html#
2023/3/1	(公財)日本法学会	2023年度 財政・金融・金融法研究基金研究助成(イ)/(ロ) 学会・研究会助成	財政学、金融学、金融法学、およびそれらの境界領域	研究助成(イ):日本の大学等において研究活動に従事する方 研究助成(ロ):日本国内の大学院博士課程(博士課程後期課程)に在籍または進学予定 学会・研究会:対象研究分野の学術研究団体・グループが主催する会	(イ)1件70万円まで (ロ)1件30万円まで 学術・研究会 1件30万円まで	募集期間:2023/2/21～3/1 必着 研究助成(ロ)は博士後期課程学生の申請可。ただし本学での経費管理は不可。	#https://www.hoseigakkai.jp/info/2022/11/29161353.html#
2023/3/6	(公財)武田科学振興財団	2023年度 特定研究助成	医学(共同研究)	国内の研究機関を対象。 申請は1機関1件(学内締切有り) 研究者個人の研究は対象外。 ※詳細は募集サイトを参照	1件5,000万円以内×12件程度 (総額6億円)	募集期間: 2023年1月6日10時～2023年3月6日 ※学内締切:2023年2月24日(金)	#https://www.takeda-sci.or.jp/assist/specific.html#
2023/3/6	(公財)武田科学振興財団	2023年度ビジョナリーリサーチ継続助成(ジャンプ)	医学	2020年度および2021年度ビジョナリーリサーチ継続助成(ジャンプ)の被助成者 ※詳細は募集サイトを参照	1件3,000万円×最大2件	募集期間: 2023年1月6日10時～2023年3月6日	#https://www.takeda-sci.or.jp/assist/visionary_jump.html#
2023/3/6	(公財)武田科学振興財団	2023年度ビジョナリーリサーチ継続助成(ステップ)	医学	2020年度および2021年度ビジョナリーリサーチ継続助成(ステップ)の被助成者 ※詳細は募集サイトを参照	1件1,000万円×5件程度	募集期間: 2023年1月6日10時～2023年3月6日	#https://www.takeda-sci.or.jp/assist/visionary_step.html#
2023/3/6	(公財)武田科学振興財団	2023年度ビジョナリーリサーチ継続助成(ホップ)	医学	2020年度および2021年度ビジョナリーリサーチ継続助成(ホップ)の被助成者 ※詳細は募集サイトを参照	1件500万円×10件程度	募集期間: 2023年1月6日10時～2023年3月6日	#https://www.takeda-sci.or.jp/assist/visionary_continu.html#
2023/3/6	(公財)武田科学振興財団	2023年度ビジョナリーリサーチ助成(スタート)	医学	国内の大学、研究機関および医療機関に所属する研究者(学生除く) ※詳細は募集サイトを参照	1件200万円×30件程度	募集期間: 2023年1月6日10時～2023年3月6日	#https://www.takeda-sci.or.jp/assist/visionary.html#
2023/3/15	(公財)武田科学振興財団	2023年度薬学系研究助成	薬学	2023年4月1日現在の年齢が満45歳未満の方。 国内の大学薬学部および大学の薬学系研究部門またはその他の薬学系研究機関に所属する研究者。 (学生除く) ※詳細は募集サイトを参照	1件200万円×40件程度	募集期間: 2023年1月6日10時～2023年3月15日。 ※所属部門長からの推薦(推薦者1名あたり1件まで) 別途、継続研究助成あり(ID2378)	#https://www.takeda-sci.or.jp/assist/pharmacology.html#
2023/3/15	(公財)武田科学振興財団	2023年度薬学系研究継続助成	薬学	2020年度および2021年度薬学系研究助成の助成対象研究課題 2021年度薬学系研究助成の被助成者 2022年度薬学系研究助成の被助成者 ※詳細は募集サイトを参照	1件300万円×5件程度	募集期間: 2023年1月6日10時～2023年3月15日	#https://www.takeda-sci.or.jp/assist/pharmacology_continu.html#
2023/3/15	(公財)武田科学振興財団	2023年度医学系研究継続助成	医学	2020年度および2021年度医学系研究助成の助成対象研究課題 2021年度医学系研究助成の被助成者 2022年度医学系研究助成の被助成者 ※詳細は募集サイトを参照	1件300万円×30件程度	募集期間: 2023年1月6日10時～2023年3月15日	#https://www.takeda-sci.or.jp/research/assist/medicine_continu.php#
2023/3/15	(公財)武田科学振興財団	2023年度医学系研究助成	医学	2023年4月1日現在の年齢が満45歳未満の方。 国内の大学医学部および大学の医学系研究部門またはその他の医学系研究機関に所属する研究者(学生除く) ※詳細は募集サイトを参照	1件200万円×240件程度	募集期間: 2023年1月6日10時～2023年3月15日。 ※所属部門長からの推薦(推薦者1名あたり1件まで) 別途、継続研究助成あり(ID2376)	#https://www.takeda-sci.or.jp/assist/medicine.html#
2023/3/15	(公財)武田科学振興財団	2023年度生命科学系研究助成	医/歯/薬/理/工/農等 生命科学分野	2023年4月1日現在の年齢が満55歳未満の方。 国内の大学、研究機関、医療機関および高等専門学校に所属する研究者。 (学生除く) ※詳細は募集サイトを参照	1件1,000万円×30件程度	募集期間: 2023年1月6日10時～2023年3月15日。 ※所属部門長からの推薦(推薦者1名あたり1件まで)	#https://www.takeda-sci.or.jp/assist/life.html#
2023/3/15	(公財)武田科学振興財団	2023年度ハイリスク新興感染症研究助成	医/歯/薬/理/工/農等 生命科学分野	2023年4月1日現在の年齢が満55歳未満の方。 国内の大学、研究機関、医療機関および高等専門学校に所属する研究者。 (学生除く) ※詳細は募集サイトを参照	1件1,000万円×10件程度	募集期間: 2023年1月6日10時～2023年3月15日。 ※所属部門長からの推薦(推薦者1名あたり1件まで)	#https://www.takeda-sci.or.jp/assist/high-risk.html#
2023/3/15	(公財)武田科学振興財団	2023年度ライフサイエンス研究継続助成	理/工/農/生/命等 2020年度および2021年度ライフサイエンス研究助成の助成対象研究課題	2020年度ライフサイエンス研究助成の被助成者で2022年度未応答 2021年度ライフサイエンス研究助成の被助成者 ※詳細は募集サイトを参照	1件300万円×5件程度	募集期間: 2023年1月6日10時～2023年3月15日	#https://www.takeda-sci.or.jp/assist/lifescience_continu.html#
2023/3/15	(公財)武田科学振興財団	2023年度ライフサイエンス研究助成	理/工/農/生/命等	2023年4月1日現在の年齢が満45歳未満の方。 国内の医学・歯学・薬学系以外の大学・学部、研究機関および高等専門学校に所属する生命科学分野の研究者。 (学生除く) ※詳細は募集サイトを参照	1件200万円×40件程度	募集期間: 2023年1月6日10時～2023年3月15日。 ※所属部門長からの推薦(推薦者1名あたり1件まで) 別途、継続研究助成あり	#https://www.takeda-sci.or.jp/assist/lifescience.html#
2023/3/17	(株)リバネス	第60回リバネス研究費 グローバルオーシャン賞	日本～東南アジアの海に關わる研究	・大学・研究機関に所属する40歳以下の研究者 ・海外に留学中の方でも申請可能 ・研究室に所属して研究を始めていれば、学部生からでも申請可能	研究費:50万円 採択件数:若干名	18時	#https://r.lne.st/grant/60-goccean/#
2023/3/17	(株)リバネス	第60回リバネス研究費 汎用バイオ基盤技術賞	バイオ基盤技術に関する研究。 ※詳細は募集元ウェブサイト参照。	・大学・研究機関に所属する40歳以下の研究者 ・海外に留学中の方でも申請可能 ・研究室に所属して研究を始めていれば、学部生からでも申請可能	研究費:50万円 採択件数:若干名	18時	#https://r.lne.st/grant/60-biotech/#
2023/3/17	(株)リバネス	第60回リバネス研究費 革新的創薬研究費	創薬に関する研究	・大学・研究機関に所属する40歳以下の研究者 ・海外に留学中の方でも申請可能 ・研究室に所属して研究を始めていれば、学部生からでも申請可能	研究費:50万円 採択件数:若干名	18時	#https://r.lne.st/grant/60-med-innovative/#
2023/3/31	(公財)スズキ財団	2022年度研究者海外研修助成	国民生活用機械などの生産・利用・消費に係る科学技術に関する研究でかつ独自の・先進的または基礎的・先導的な研究開発課題を対象とした、海外で開催されるシンポジウム、会議などへの出席に要する渡航費用	日本国内の大学、大学院、高等専門学校または公共機関に常勤する研究者及び大学院生(院生は発表者の場合に限る)	1回分の渡航(日数の限定はなし)	2022年4月以降随時募集。予算到達時に打ち切り 院生可(発表者の場合に限る)。ただし、本学での経費管理不可。	#https://www.suzukifound.jp/02program/program03.html#
2023/3/31	高志の国文学館	令和5年度高志プロジェクト	富山県の文学、民俗、歴史など広く富山文化の調査・研究	研究者、高校、中等で教育に携わる方など富山文化の調査・研究を行う個人またはグループ	3件各20万円	必着	#https://www.koshibun.jp/id=100558#
2023/3/31	(一財)山下太郎顕彰育英会	第33回山下太郎学術研究奨励賞	秋田県出身または秋田県内の研究機関に所属する、学術研究を行っている研究者、研究団体(研究分野の指定なし、40歳未満)	次の3つの条件を満たしている個人とする。 (1)秋田県出身、又は秋田県内の研究機関等に所属する者 (2)令和5年4月1日現在において満40歳未満である者 (3)専攻する学術分野において独自の優れた業績をあげ、原則として最近5年間に専門の学術研究誌等に発表するか、権威ある展覧会・発表会等において入賞・入選 日本国内の大学、大学院、高等専門学校または公共機関に常勤する研究者	受賞者数は2名以内とし、1名につき表彰状と副賞100万円を授与。	募集期間:2023/3/1～3/31(必着) ※学内締切:2023年3月15日(推薦枠に限りがあるため)	#https://yamaiku.jp/archives/1635.html#
2023/3/31	(公財)スズキ財団	2022年度研究成果普及助成	国民生活用機械などの生産・利用・消費に係る科学技術に関する研究でかつ独自の・先進的、又は基礎的・先導的な研究開発課題を対象とした、国内外で行われるシンポジウム、会議などの開催費用	大学・国立研究開発法人等の研究機関に所属する研究者、大学院生、学部学生が対象(国籍不問・日本居住者のみ)。 主たる研究者を中心とする少人数のグループでの申請も可能 ※詳細は募集元HP参照	1回分の開催 (日数の限定なし)	2022年4月以降随時募集。予算到達時に打ち切り	#http://www.suzukifound.jp/02program/program03.html#
2023/3/31	(公財)医療機器センター附属医療機器産業研究所	2023年度調査研究助成【公募型リサーチペーパー】	社会科学研究テーマ(医療機器産業界の振興・発展に寄与する経済学、経営学、法学、レギュラトリーサイエンス、医療経済学、歴史学、政治学等) ※詳細は募集元HP参照	大学・国立研究開発法人等の研究機関に所属する研究者、大学院生、学部学生が対象(国籍不問・日本居住者のみ)。 主たる研究者を中心とする少人数のグループでの申請も可能 ※詳細は募集元HP参照	50万円(税込)を基準	必着(第19期) 第19期: 2023/03/01-31 第20期: 2023/07/01-31 第21期:2023/11/01-30 学生の応募可。ただし本学での取次管理は不可。	#https://www.jaame.or.jp/mdsi/activity/grant_application.html#
2023/3/31	(一社)日本経営管理協会(JIMA)	第34回懸賞論文「経営管理黒澤賞」	課題テーマ「人的資本投資と企業経営」	将来経営コンサルタントを目指す若手研究者	黒澤賞:1編 5万円 協会賞:2編 3万円 佳作:若干編 1万円 奨励作:若干編 記念品	学生歓迎	#https://jima.org/activity/kurosawa-award#